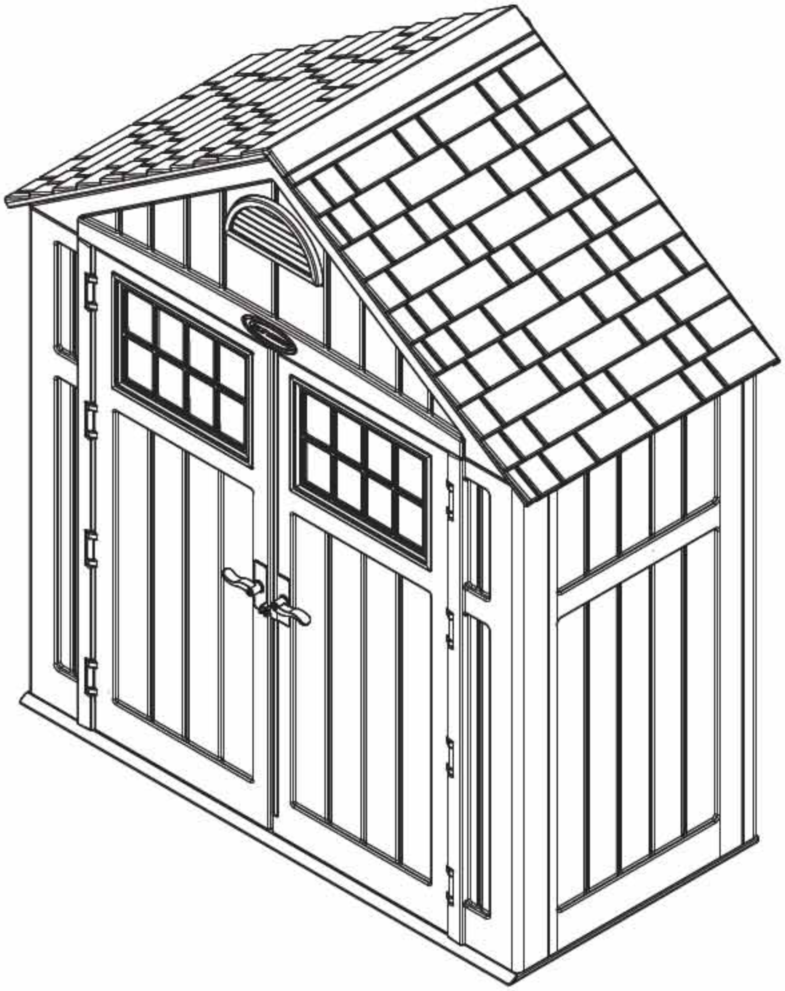
組立前に必ず取扱い説明書を
お読みください。
組立前に必ずパーツ確認を
してください。

BMS7300
ホームデザイン物置【小】
取扱い説明書



Quality Control Number:

サイズ(外寸)： 横228×奥行111×高さ261 (cm)
サイズ(内寸)： 横214×奥行97×高さ253 (cm)

© 2012 Suncast Corporation, Batavia, IL

0361117D

設置前に・・・

- **法規に従って設置してください。**
  設置に関して、許可が必要な場合もしくは許可が必要か不明な場合は担当の自治体へお問い合わせください。

- **設置場所は水平レベルを出して地盤のしっかりした場所に設置してください。**
  設置場所基礎の情報は9ページを参照してください。

- **設置前に必ず取扱い説明書を最後までお読みください。**
  間違った手順で組み付けると製品の破損、事故の原因となる場合があります。

- **説明書の指示に従ってください。**
  取扱い説明書の指示に従わずに組立をすると破損、事故の原因となります。また、改造は行わないでください。

- **組立前にパーツを確認**
  組立前に4-8ページのパーツを確認してください。パーツ不足、パーツ不良が判明した場合は組立を行わないようにしてください。組立前に基礎工事を完了させてください。

- **組立は十分な人数を確保してください。（推奨人数：３名）**

  説明書文中に左アイコンがある場合は２人以上（推奨人数３人以上）で作業してください。

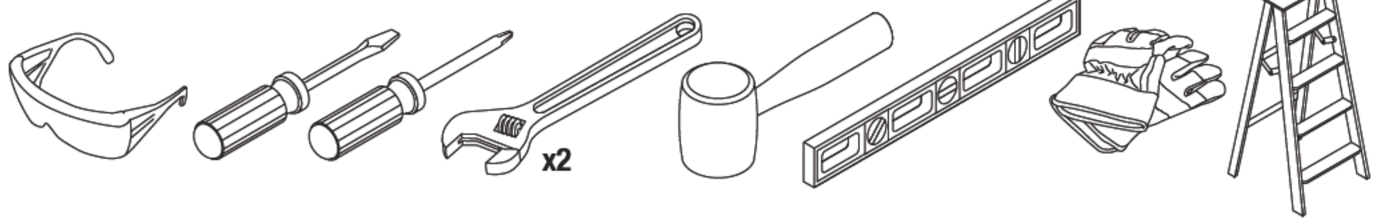
注意

- しっかりとした基礎の上に設営してください。
- 物置は過酷な気象状況に対応していません。
- 化学薬品、可燃性物を保管できません。
- 一箇所に重量が集中する物は床や壁が変形する恐れがあります。
- 子供が利用する事はできません。
- 絶対に屋根の上に上らないでください。
- パーツの破損時はすぐに修理もしくはパーツ交換をしてください。
- Suncast社は誤った使用、不正な改造、自然災害に対する損害に対して責任がありません。
- 定期的に物置の建付を確認してください。
- 定期的に基礎の水平レベルを確認してください。
- このキットは金属端パーツを含みます。扱うときは注意してください。（グローブ着用）

物置内の安全とメンテナンス

- 可燃用品は必ず燃料を抜いて保管してください。古い、ストーブ、グリル、トーチランプは保管しないでください。
- 電化製品、化学薬品、可燃物、生き物は収納できません。
- 重い荷物を壁に立てかけないでください。パネルの歪みを引き起こす可能性があります。
- 屋根の上の雪や葉を取り除いてください。
- 20cm以上積雪がある場合は屋根部の雪落としをしてください。
- 物置の屋根、壁部は細かいテクスチャを含みます。時間とともにその部分にチリがたまりコケが発生する場合があります。物置の性能を維持する為、年に一度やわらかいブラシ等を使用して中性洗剤と水で清掃してください。硬いブラシは使用しないでください。また、シンナー系、アンモニア系の化学薬品などを使用しないでください。

組立に必要な工具

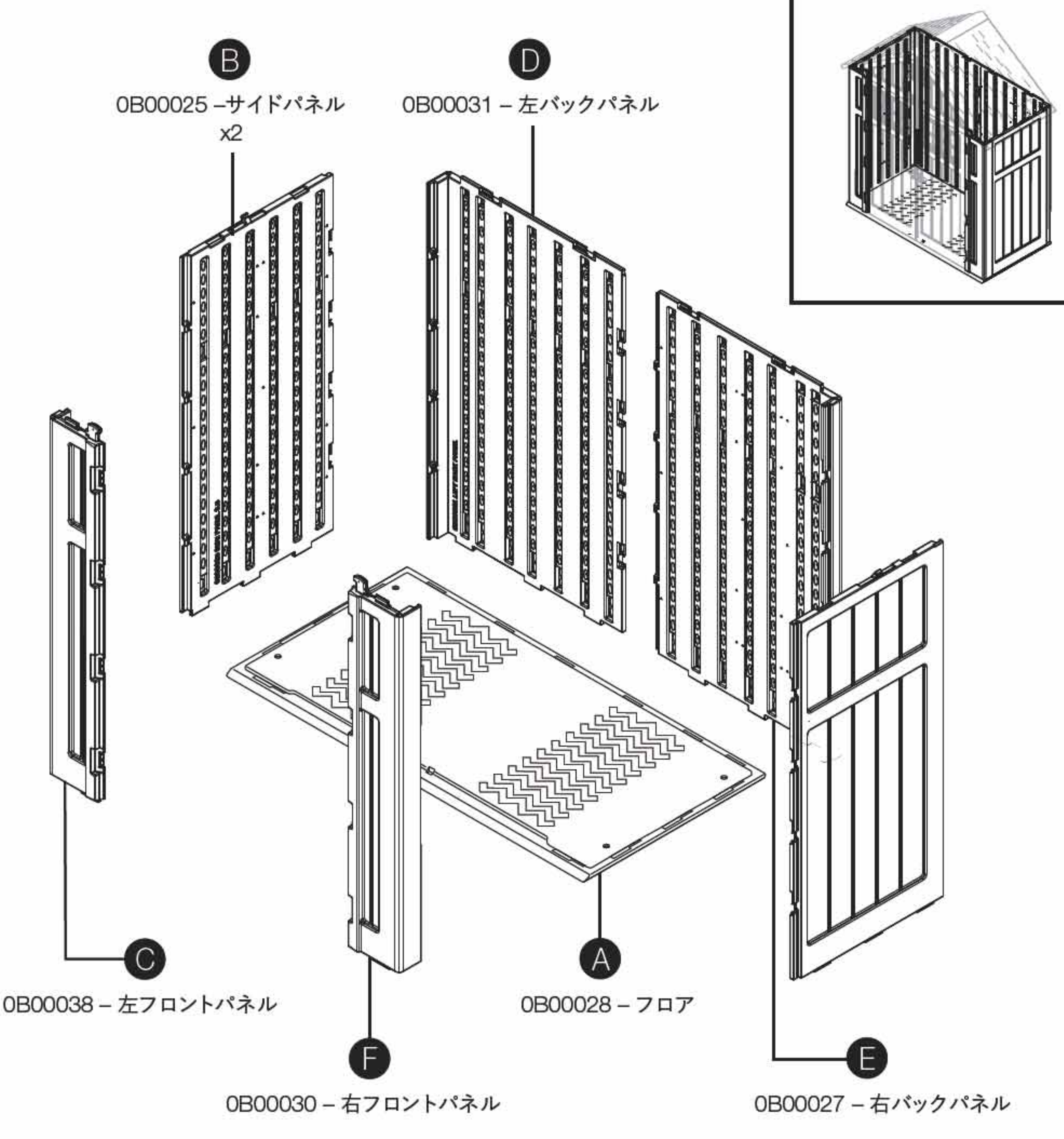


組立時の注意

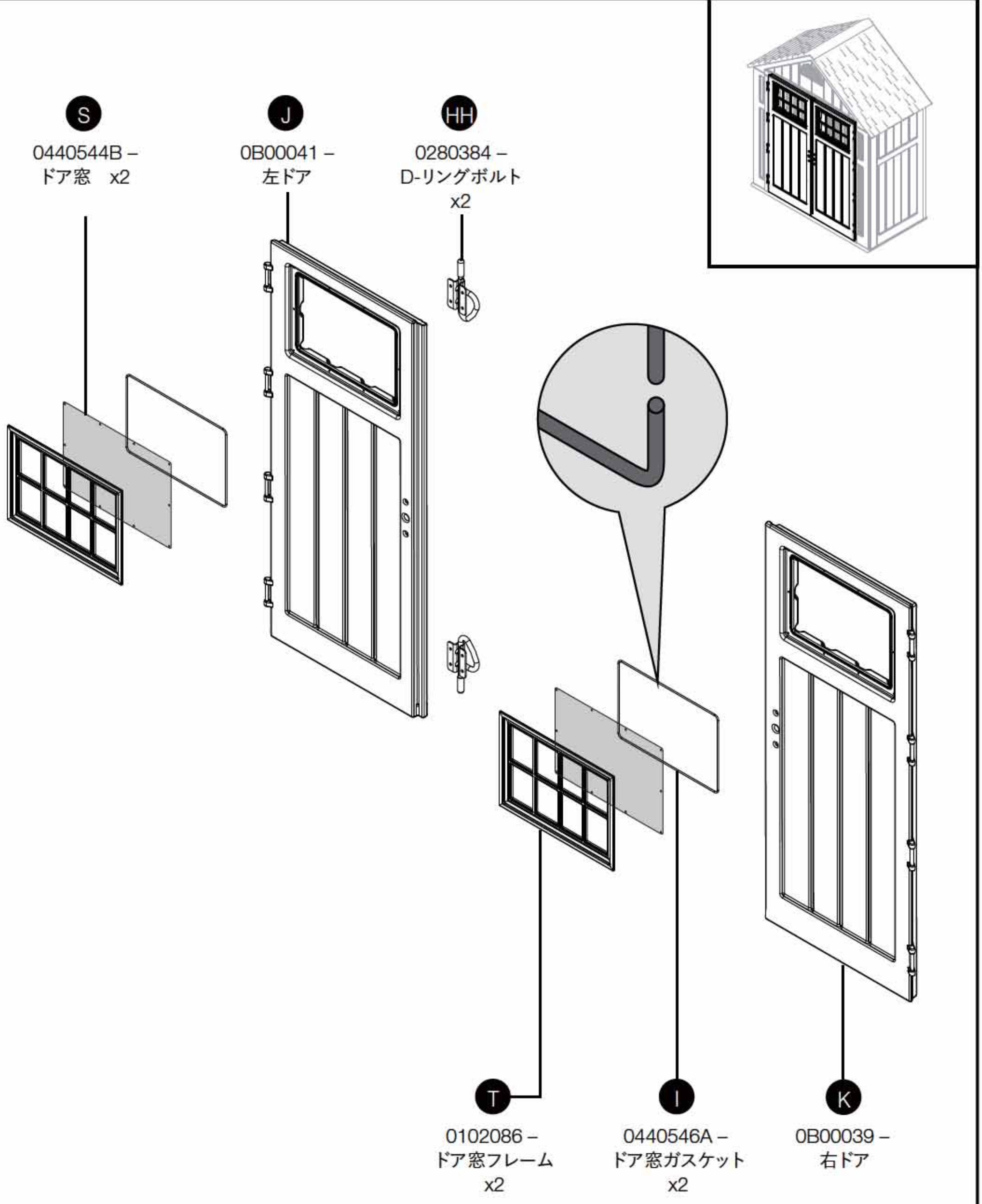
- 組立前に取扱い説明書をよくお読みになってください。
- 組立前にパーツの数量、パーツ不良の有無を必ず確認してください。
- パーツを組み立てる前に基礎を完成させてください。
- 風の強い日に組立しないでください。危険です。
- 氷点下での組立は行わないでください。破損する場合があります。
- 組立には十分な時間を確保してください。
- パーツ持ち上げ時の補助も含めて余裕のある人数で作業してください。（推奨３名）
- グローブをはめて、組立に適した服装で作業してください。
- 内部作業時、暗くなる場合がありますので、ハンディーライトなどの使用を推奨します。
- 細かいパーツが余分に入っている場合があります。使用しない場合も保管してください。
- プラスチックパーツを地面に置く場合は傷がつかないよう保護して作業してください。
- 火気の近くに設営しないでください。
- 強風にさらされる場所へは設置しないでください。
- 改造はしないでください。
- 組立後も取扱説明書を保管してください。

注意: 組立設営時に発生した事故、破損についての損害補償はしません。安全に配慮して設置組立をしてください。

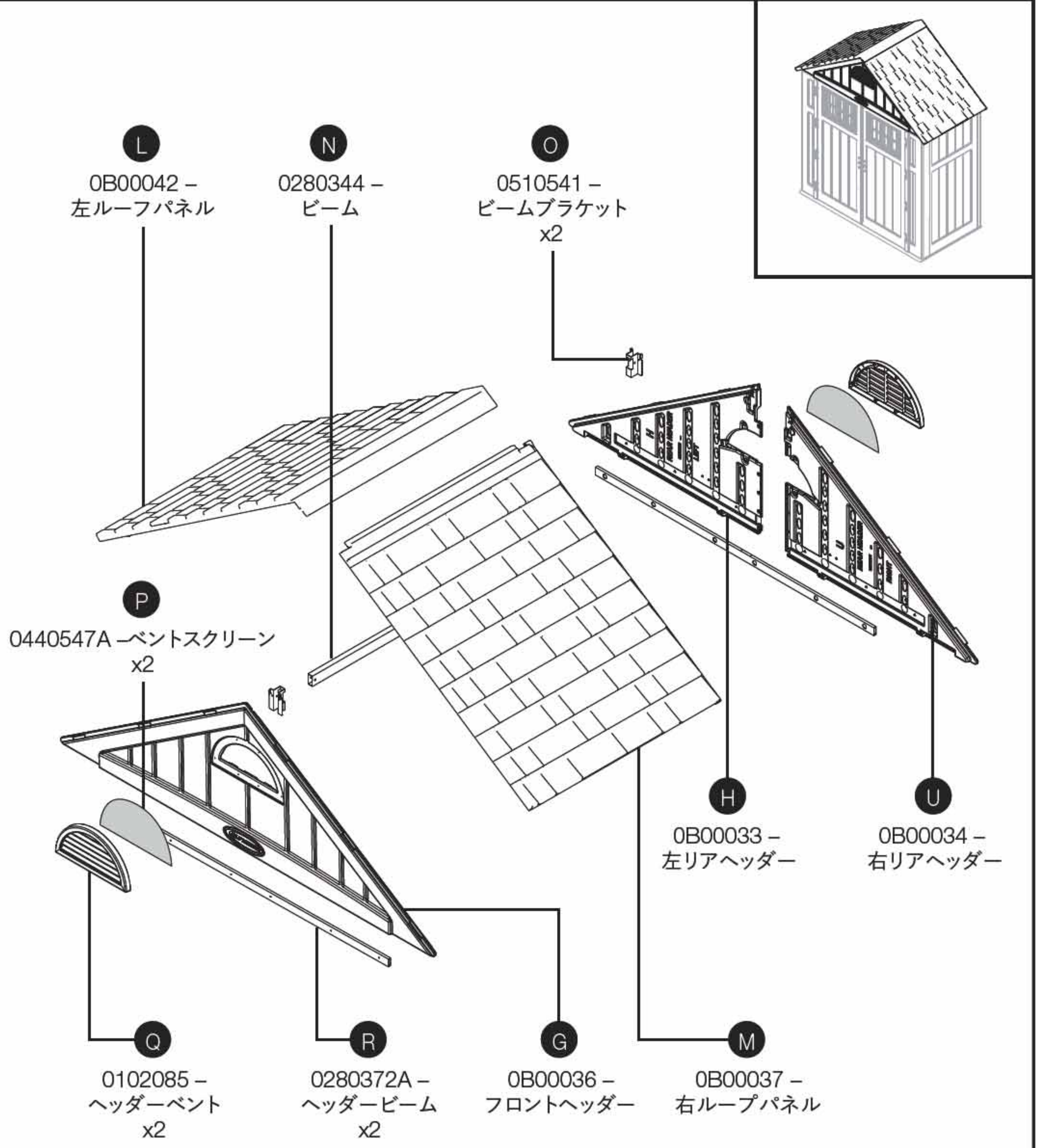
パーツリスト - BMS7300　フロア＆壁



パーツリスト - BMS7300　ドア

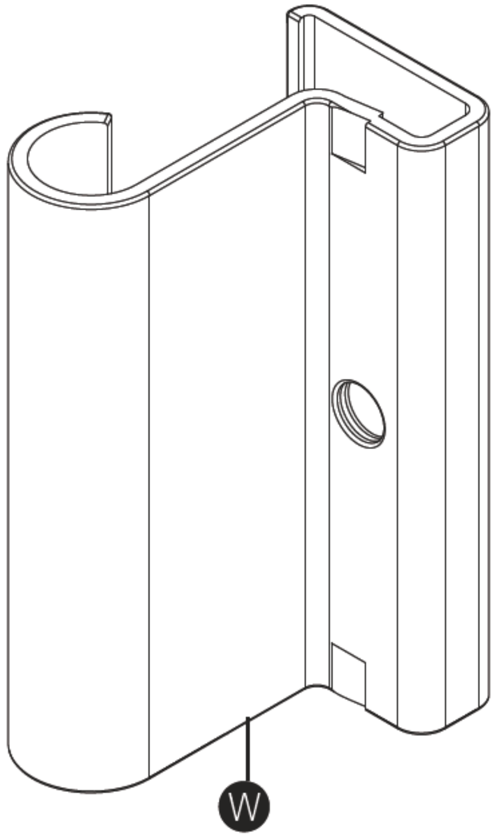


パーツリスト - BMS7300　屋根

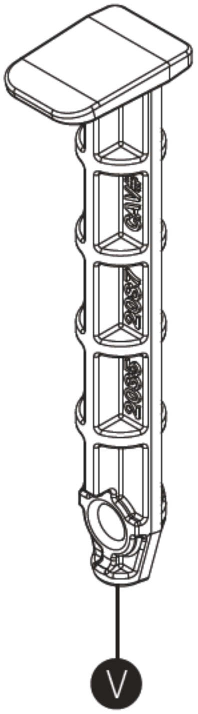


パーツリスト - BMS7300　その他

0440661 – Hardware bag

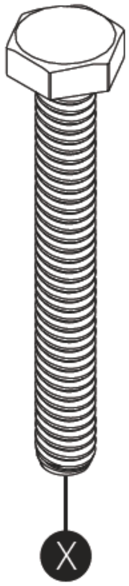


0510550A – ヒンジプレート
x8

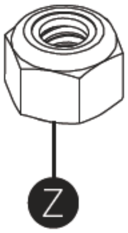


0102087 – パネルコネクトピン
x33

0480247A – Hardware bag



.25" x 2"　ボルト
x4



.25" ロックナット
x4

0480246B – Hardware bag

.625"
木ネジ
x85

ボルト類のサイズはインチ表記です。余分に入っている場合がありますので、全て使い切りません。

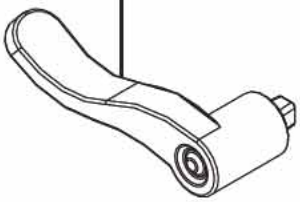
パーツリスト - BMS7300　ハンドルキット

0440647A – Door Handle Kit

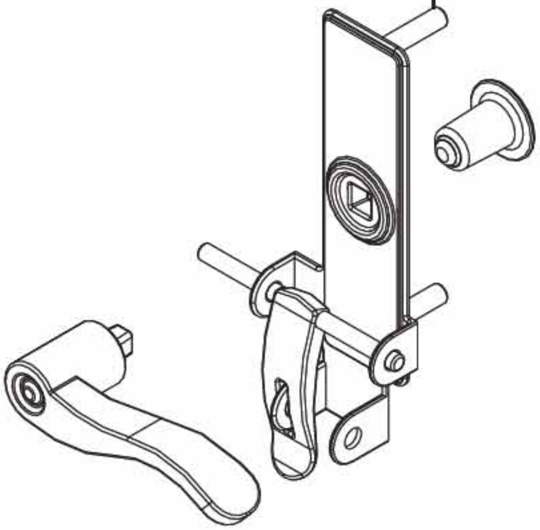
CC
0630891A –
左ハンドルプレート

DD
0630895 – スペーサー
x2

BB
0630624 – ドアハンドル
x2



EE
0670147 –
右ハンドルプレート

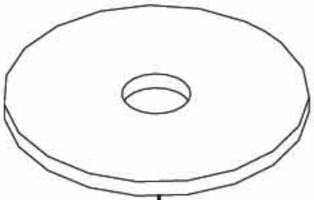


Hardware

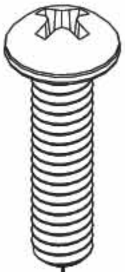
0480309 – Hardware bag

Y
.25" x .75"
+ボルト
x9

Z
.25" ロックナット
x9



FF
.25" ワッシャー
x5



GG
.25" x 1"
+ボルト
x7

ボルト類のサイズはインチ表記です。余分に入っている場合がありますので、全て使い切りません。

基礎について

組立キットには基礎の材料は含まれていません。

注： この物置を設置するには基礎が必要です。しっかりとした水平の基礎の上に物置を設置してください。基礎を設置しないと歪みの原因となり、立て付けが悪くなる場合があります。また、物置本来の強度が保てない場合や最悪破損する恐れがあります。

注： 組立前に必ず基礎を施工してください。

基礎の準備をしてください。:

1)設置場所の法規に従って基礎を作成してください。基礎について不安な点がありましたら、業者等へご相談ください。SUNCAST社は基礎施工の斡旋は行っていません。

2) 地中の配線、パイプ等に注意して基礎を作成してください。

3) 基礎の作成方法:

コンクリート基礎（推奨）

１０cm以上の厚さで施工してください。水平に施工してください。水はけ等に注意してください。

木枠基礎

設計図を参考に木枠の基礎を作成してください。基礎に使用する木は防腐処理が施された物を使用してください。必ず水平に木枠基礎を設置してください。図は例です。収納物に合わせて木枠を増やし補強してください。最低でも一年に一度基礎の水平状態、腐食状態などをご確認ください。

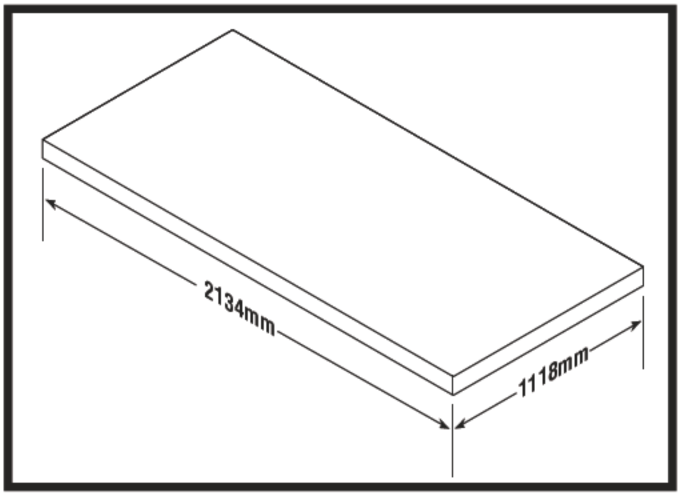
4) 基礎について:

- 基礎面は平らで水平にしてください。
- 基礎面は他の面より高くして水がたまらないようにしてください。

5) アンカーについて:

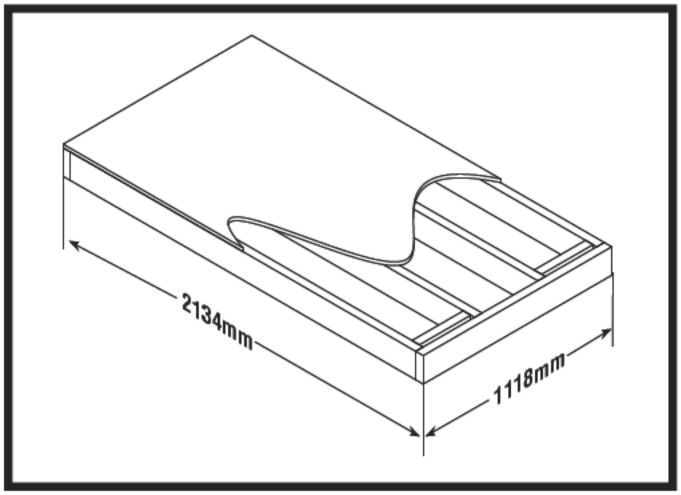
- フロアには１枚につき25mmのアンカーポイントが4箇所あります。
- 基礎に合わせて別途アンカーを用意して施工してください。キットにはアンカーは含まれていません。

コンクリート基礎



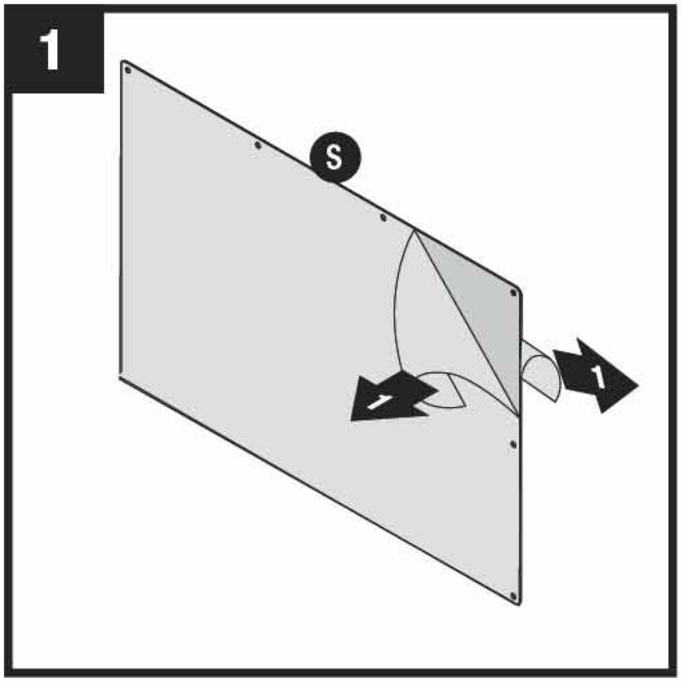
・推奨基礎。

木枠基礎（例）

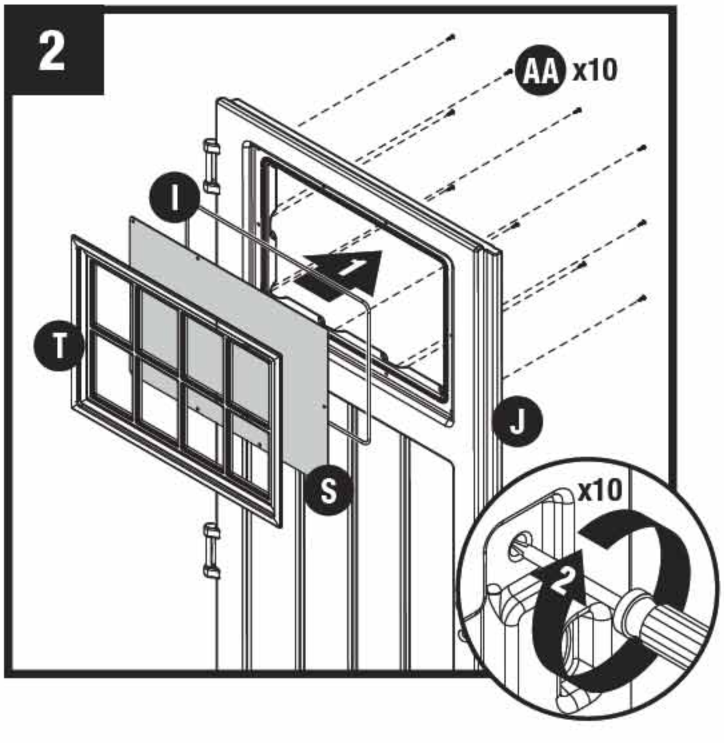


・木枠の上部には防腐処理されたパネル（コンパネ等）を一面取り付けてください。

ドアの組立



ドア窓（S）のフィルムをはがします。



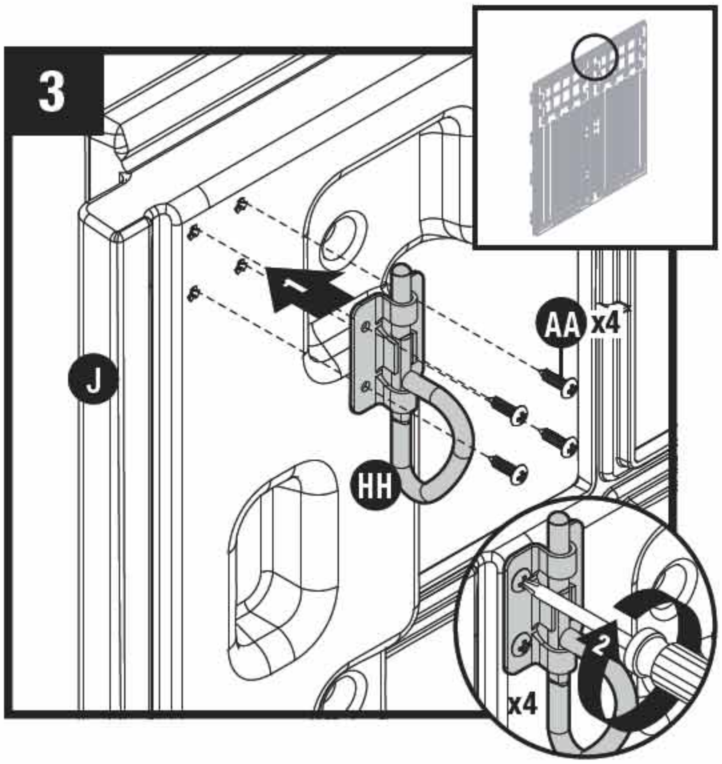
左ドア（J）を立てます。図のように窓ガスケット（I）、窓（S）、窓フレーム（T)の順番に重ねます。ドアの裏側から１０箇所木ネジ（AA)を利用して締めます。(木ネジは角の４箇所からしめてその後他をしめてください。)

木ネジを締めすぎないよう注意してください。
同じ手順で右ドア（K)に窓を取り付けます。

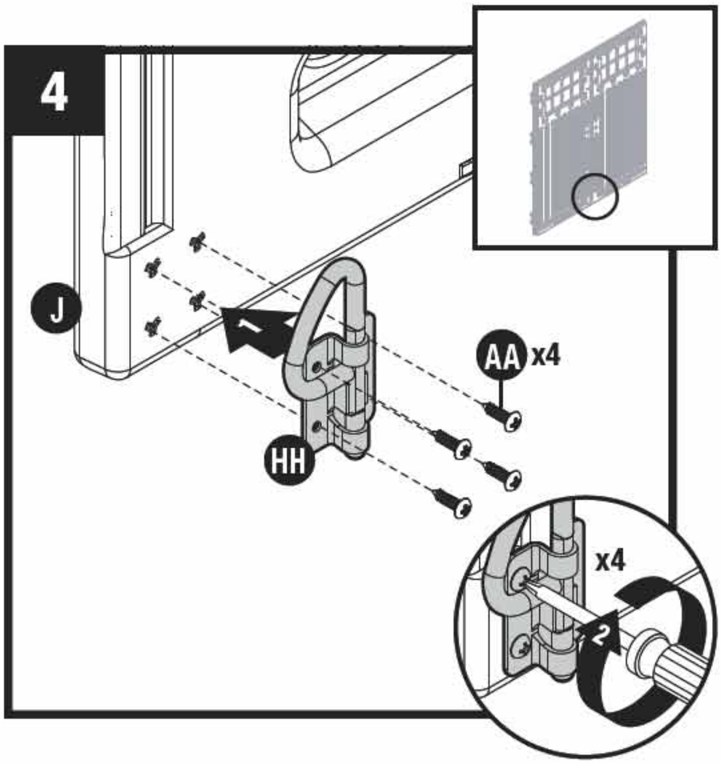
注: ガスケットが長い場合は長さを合わせて切断してください。ガスケットは下部分からはめ込みを始めてください。

注: この作業は二人以上必要です。

ドアの組立

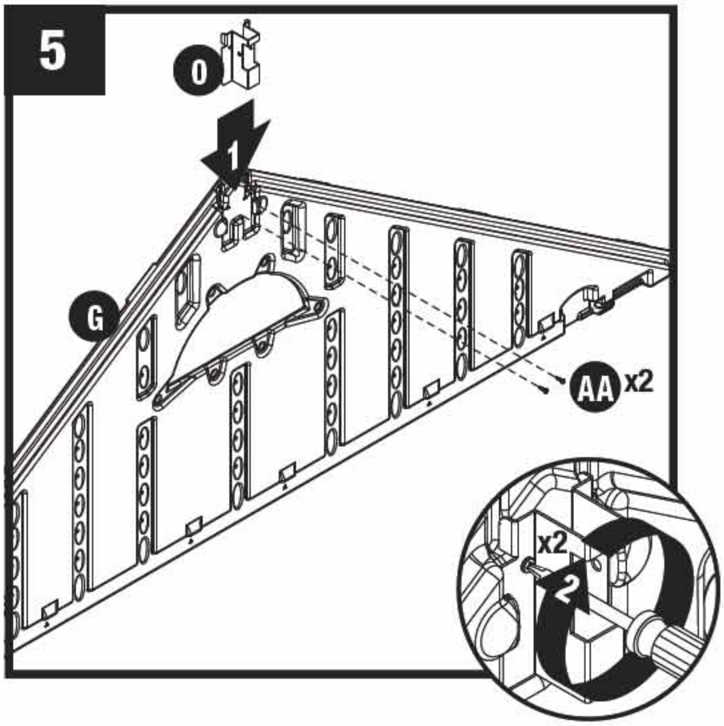


図のように左ドア (J)内側上部にD-リングスライドボルト (HH) を４本の木ネジ (AA)を利用して 穴に合わせて取り付けます。

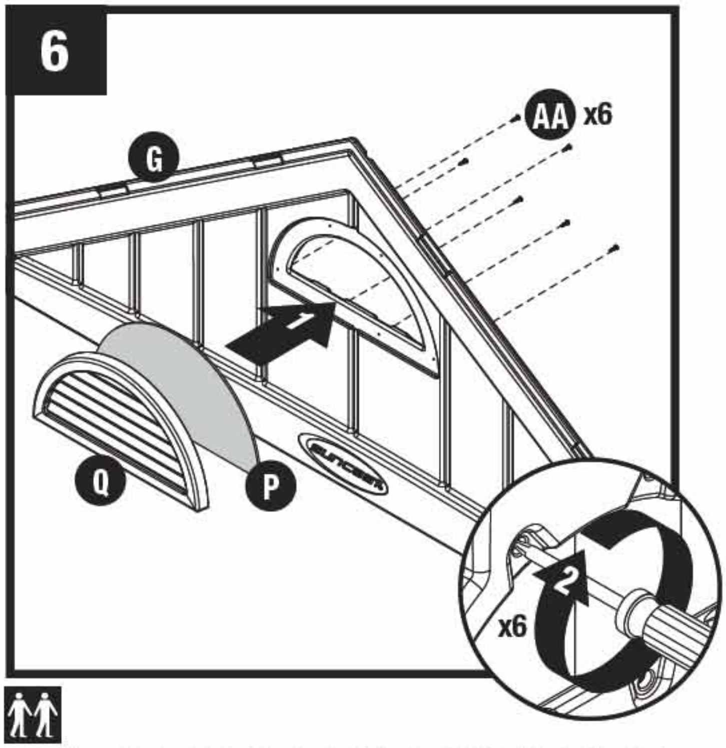


同じように左ドア (J)内側下部にD-リングスライドボルト (HH) を４本の木ネジ (AA) を利用して穴に合わせて取り付けます。

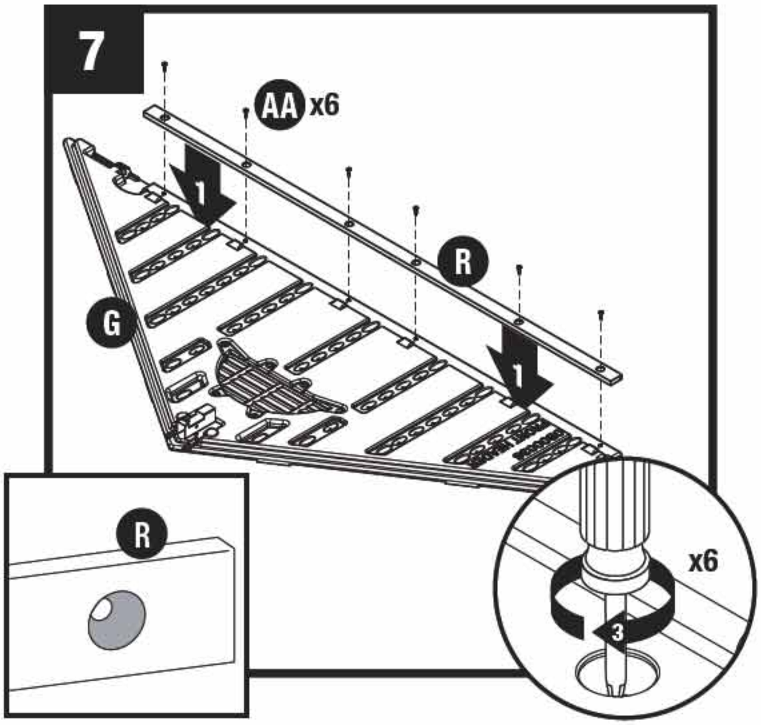
フロントヘッダー組立



ビームブラケット (O)を ヘッダービーム (G) の図の位置に差し込み、2 本の木ネジ (AA)を利用して締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**



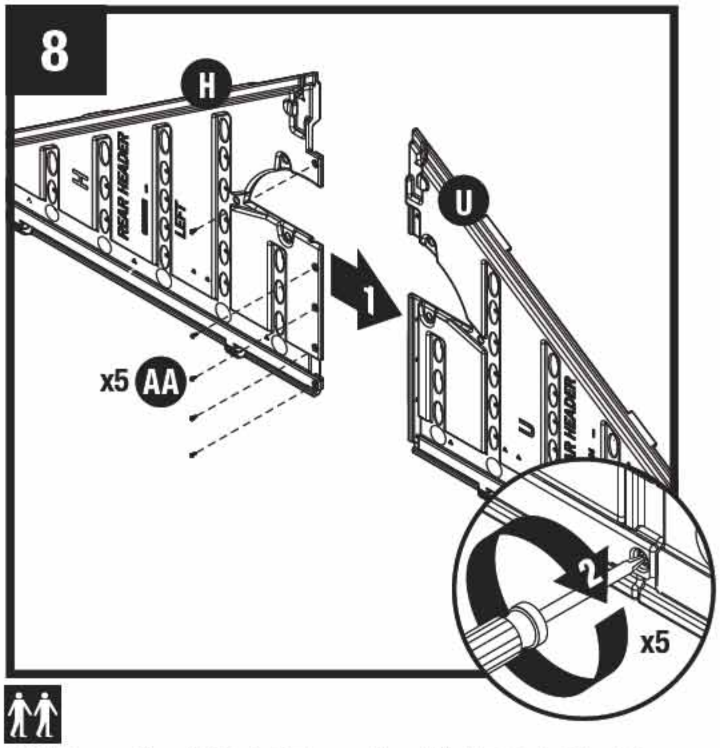
ヘッダーベント (Q)とベントスクリーン (P)を図のように合わせて フロントヘッダー(G)の裏側から 6 本の木ネジ (AA)で締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**



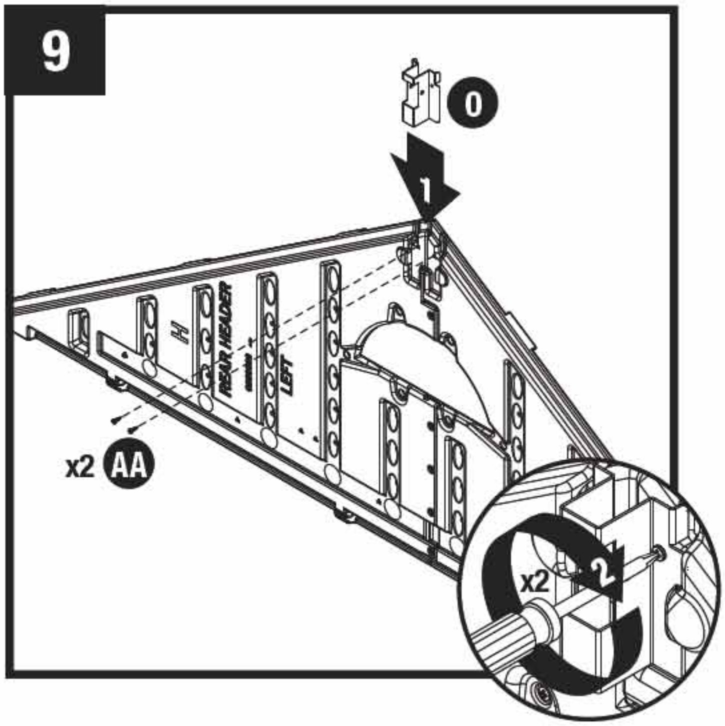
フロントヘッダー (G) の裏面を表にして地面に置きヘッダービーム (R)を図のようにのせ、6 本の木ネジ(AA)で締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**

注: ヘッダービーム (R)は穴が小さな面がフロントヘッダー (G) に接します。穴が大きなほうからネジを締めてください。

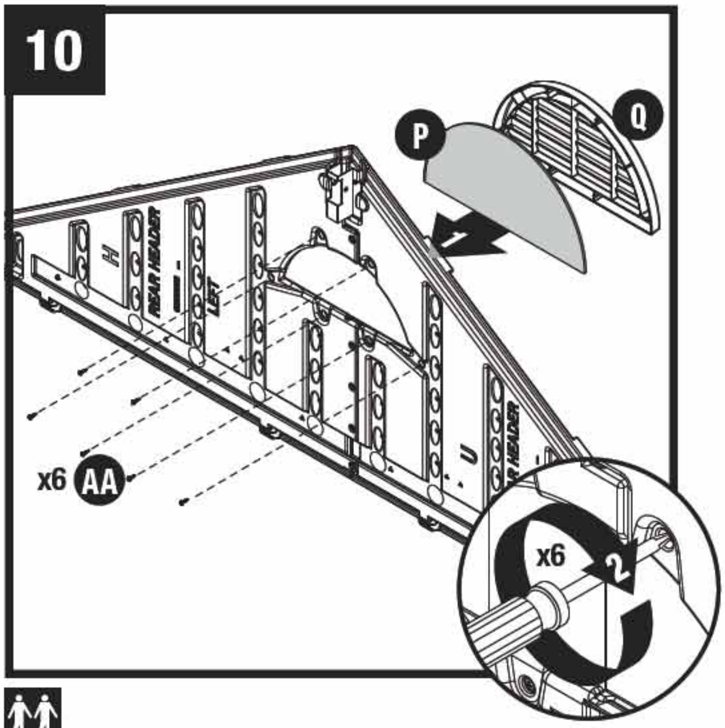
リアヘッダー組立



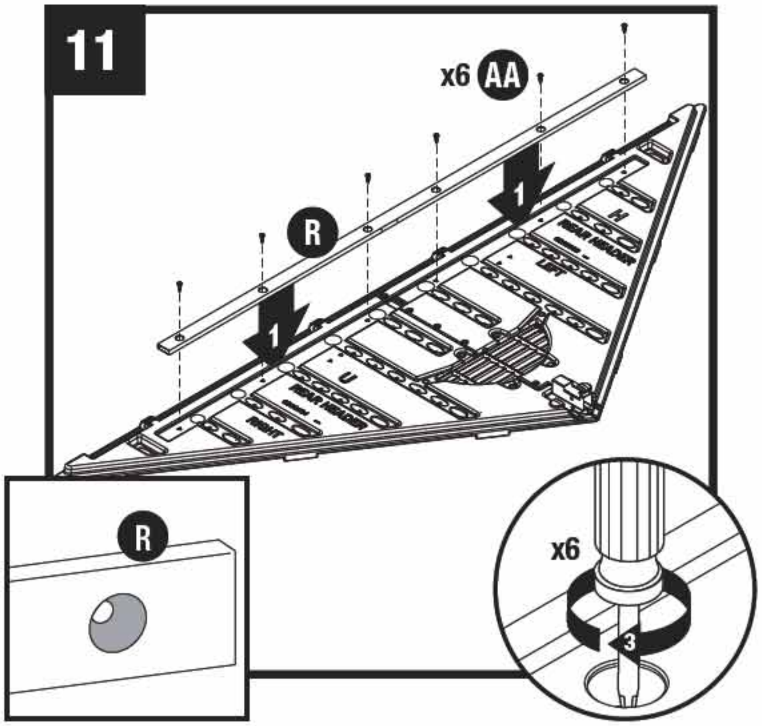
左リアヘッダー (H)と右リアヘッダー (U)を図のように合わせ５本の木ネジ (AA)で締めます。
木ネジを締めすぎないよう注意してください。



ビームブラケット (O)を リアヘッダー裏側図の位置に差し込み、２本の木ネジ (AA)を利用して締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**



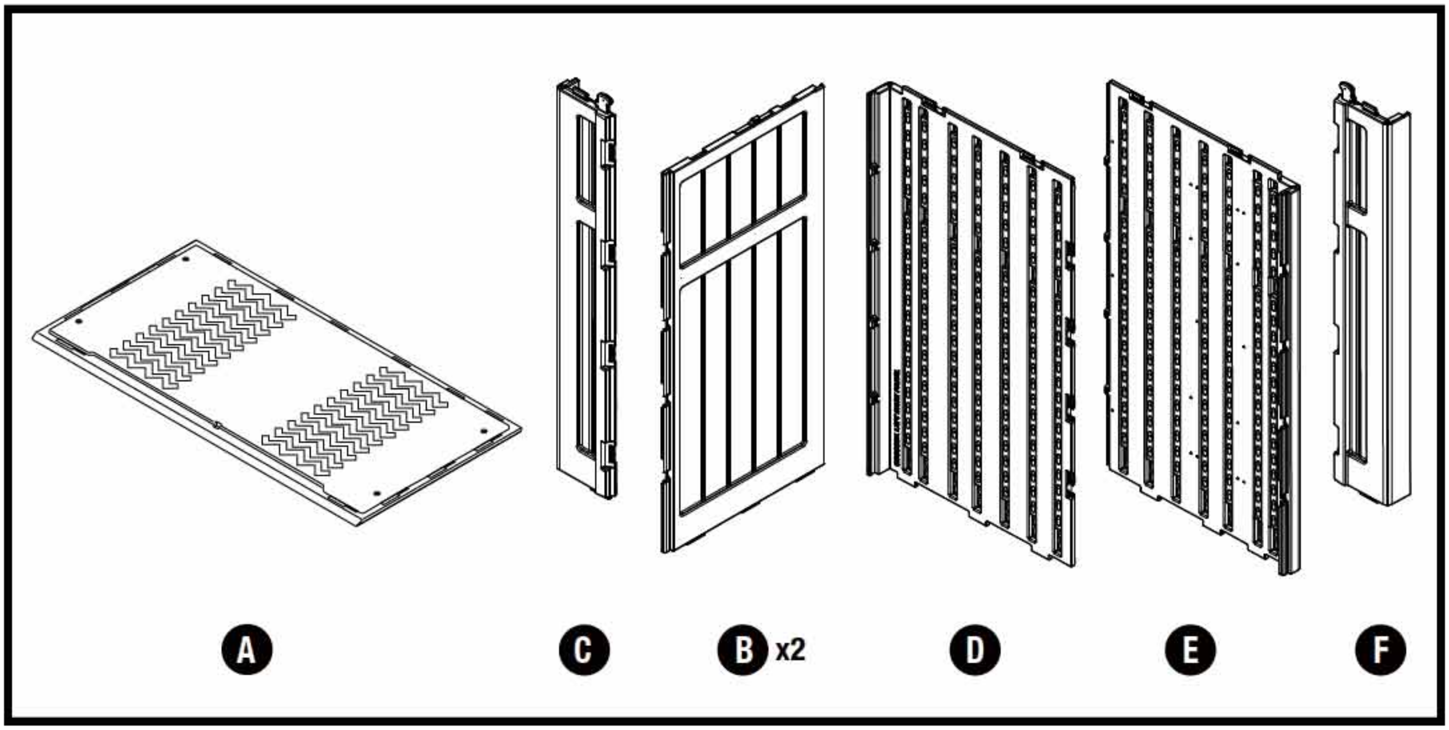
ヘッダーベント (Q)とベントスクリーン (P)を図のように合わせて リアヘッダーの裏側から６本の木ネジ (AA)で締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**



リアヘッダーの裏面を表にして地面に置きヘッダービーム (R)を図のようにのせ、６本の木ネジ(AA)で締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**

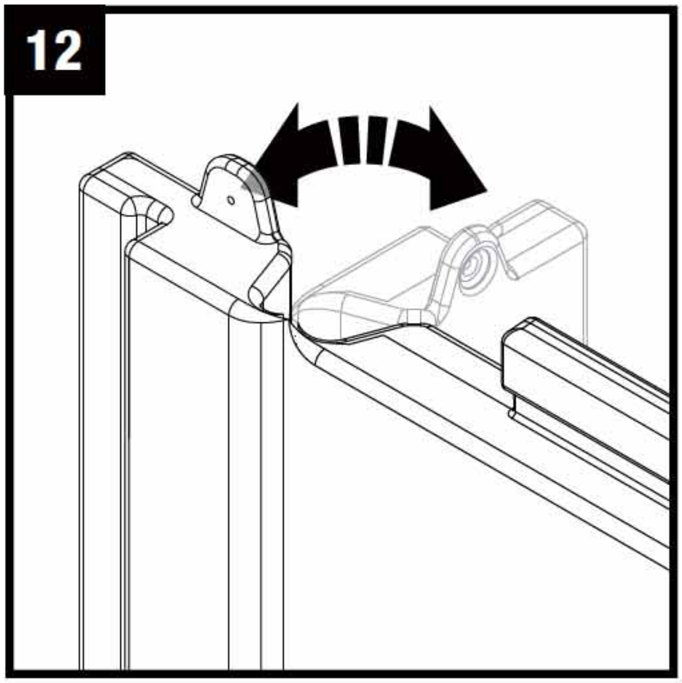
注: ヘッダービーム (R)は穴が小さな面がリアヘッダーに接します。穴が大きなほうからネジを締めてください。

フロア・壁組立



注: この組立は 2 人以上（推奨 3 人以上）で作業してください。

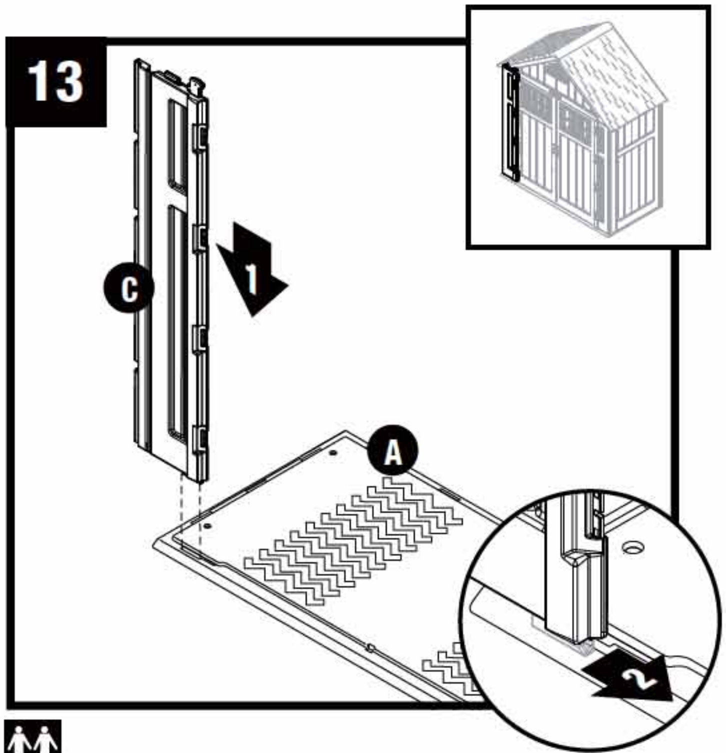
注: この作業はゴムハンマーが必要です。（ゴムハンマーは強くたたき過ぎないようにしてください。）



注意：

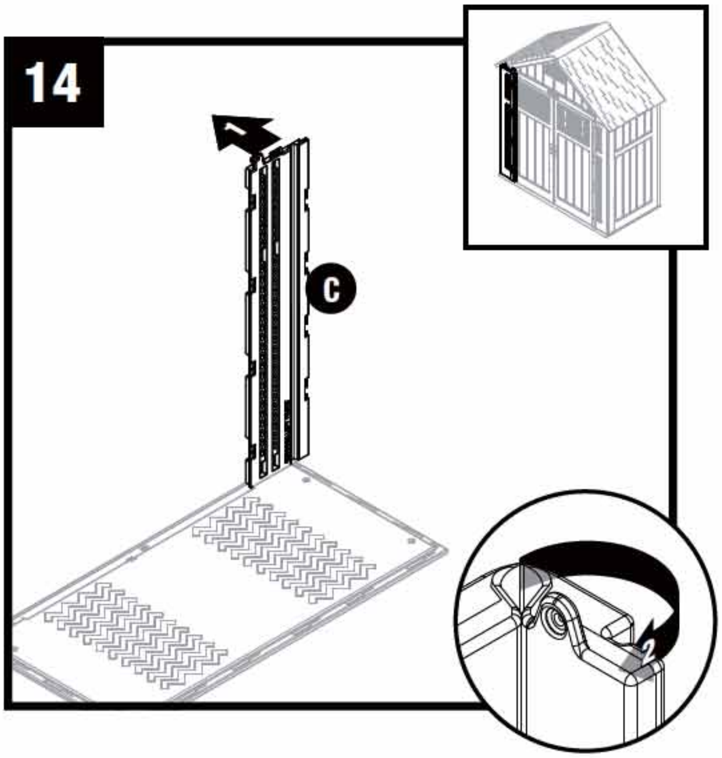
コーナー部のパネルを設置する際、内側に折り込み、フロアパネルおよび他の壁パネルと確実に接続してください。反対方向に曲げると破損する恐れがあります。

壁の組立

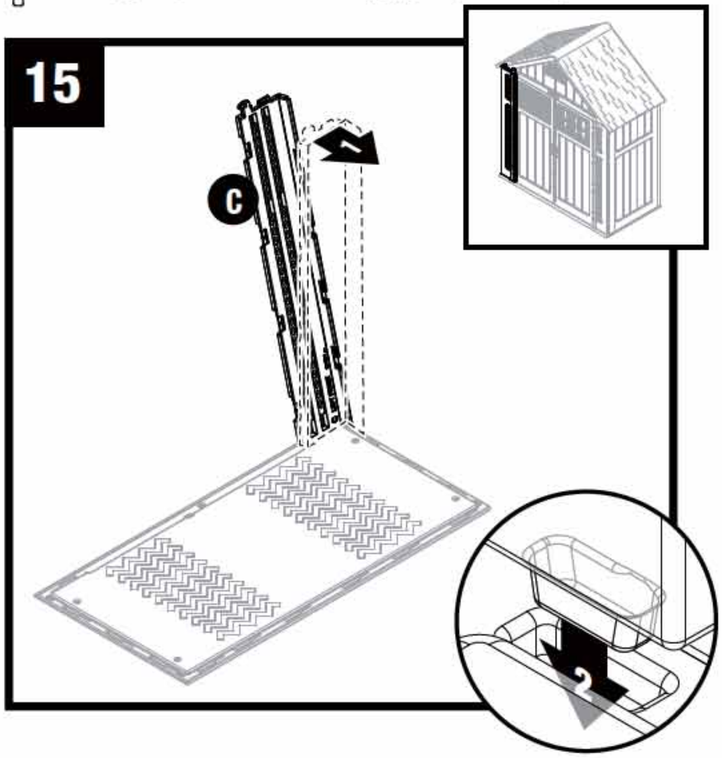


図を参考に左フロントパネル(C) をフロア (A) に差し込み、矢印 2 のように左フロントパネル(C) をスライドさせます。

注: 左フロントパネル (C) を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。



左フロントパネル (C) を矢印 1 の方向に少し倒し、コーナー部を内側へ曲げてください。

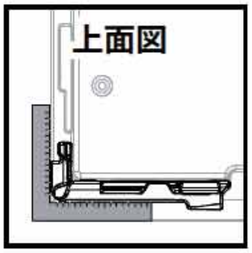


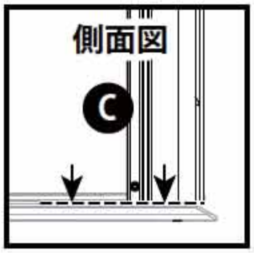
左フロントパネル (C) の角が曲がった状態を保ちながら矢印 1 の方向に戻し、フロアに差し込みます。

16

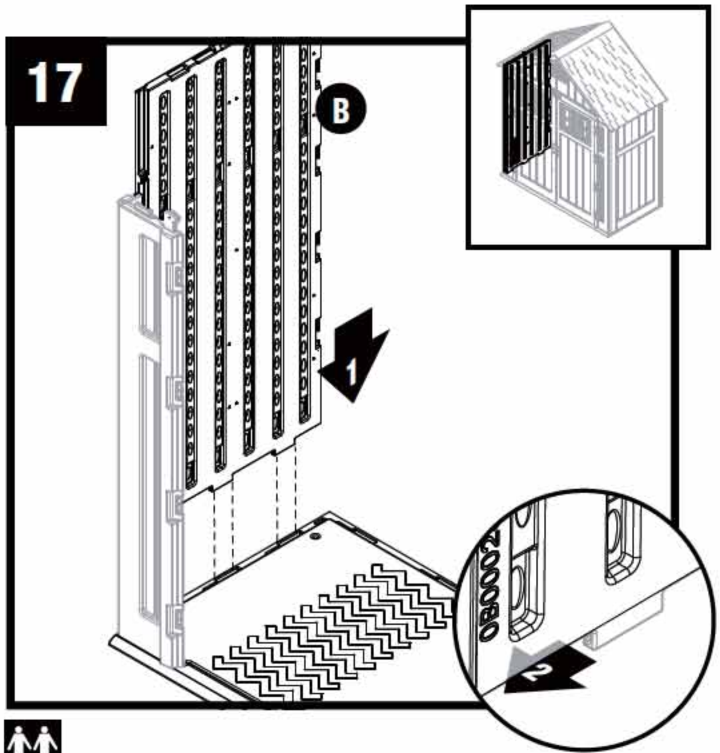
次のステップに進む前に垂直（上面図）、フロアとの接続（側面図）を確認してください。

図と異なる場合は13から15までのステップをやり直してください。



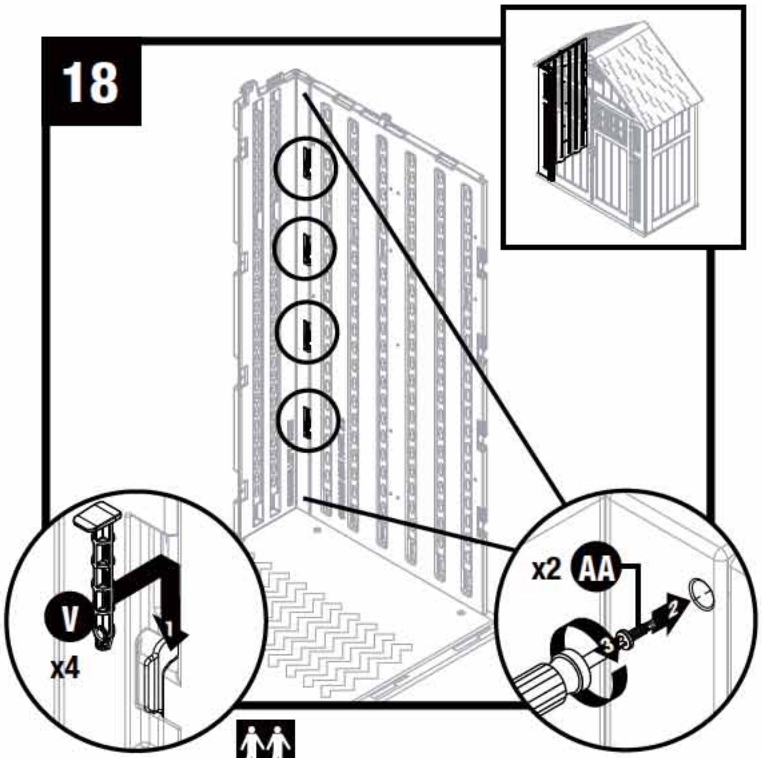


壁の組立

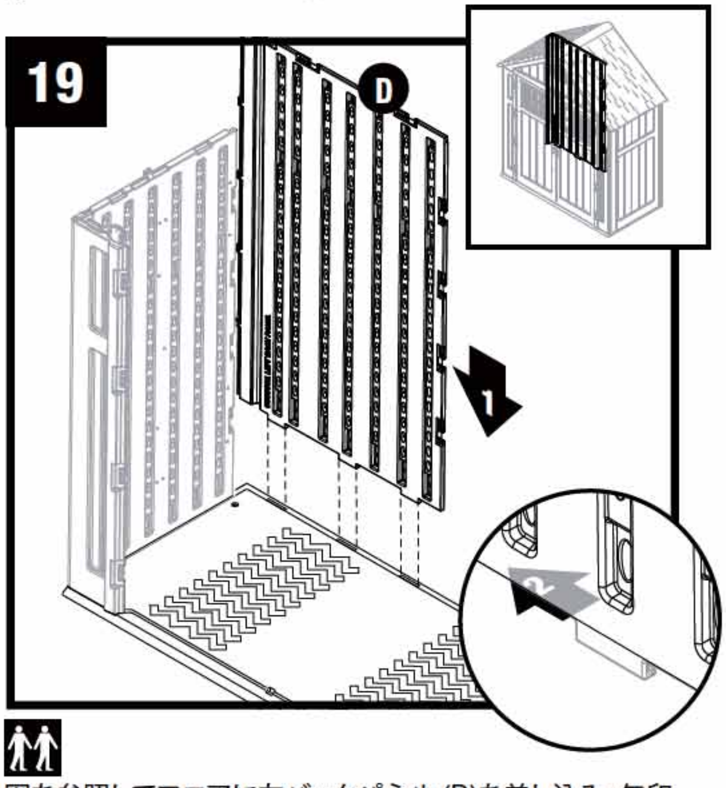


図を参考にサイドパネル(B) をフロア (A) に差し込み、矢印
２のようにサイドパネル(B) をスライドさせます。

注: サイドパネル (B) を完全に差し込むために必要に
応じてゴムハンマーを使用してください。

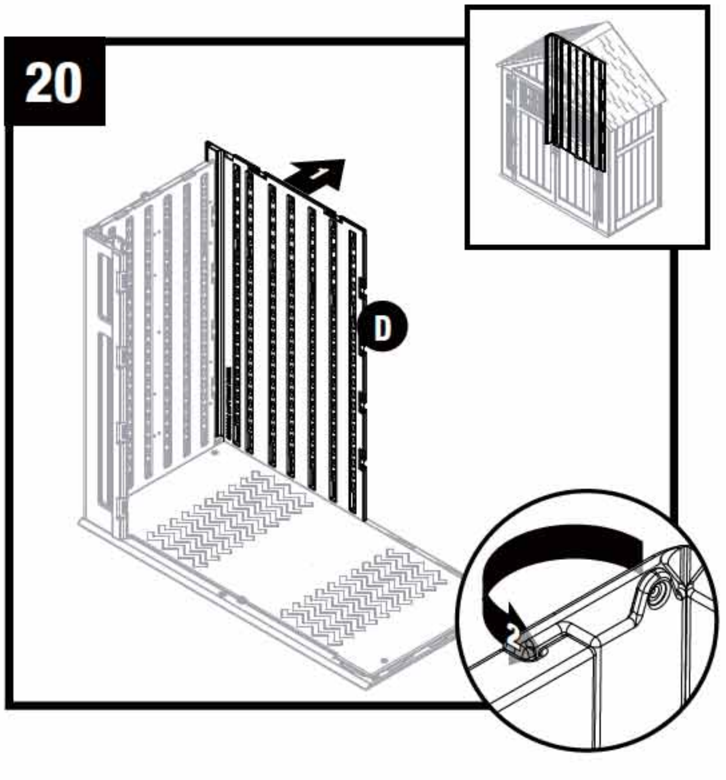


図のように4本のパネルコネクトピン (V)を差し込みます。も
う一人はピンが挿入しやすいように外側から壁を押さえて
ください。ピンは割れやすいので注意してください。その後
２本の木ネジを利用して上下２箇所を接続してください。
木ネジを締めすぎないよう注意してください。



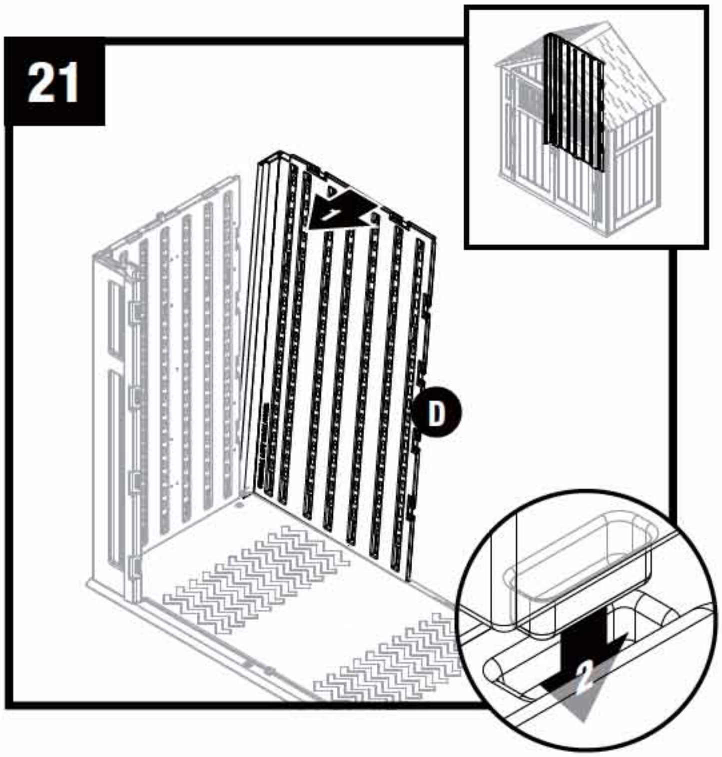
図を参照してフロアに左バックパネル (D)を差し込み、矢印
２のようにスライドさせます。

注: 左バックパネル(D) を完全に差し込むために必要に
応じてゴムハンマーを使用してください。

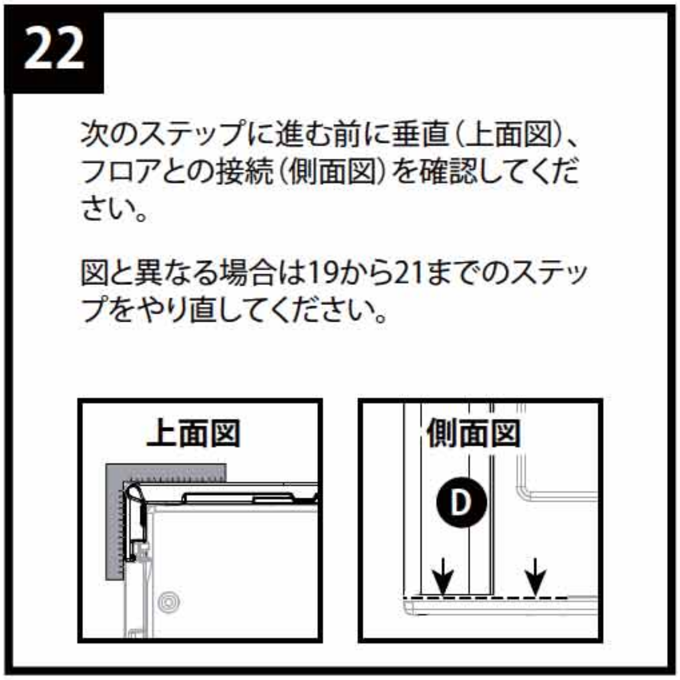


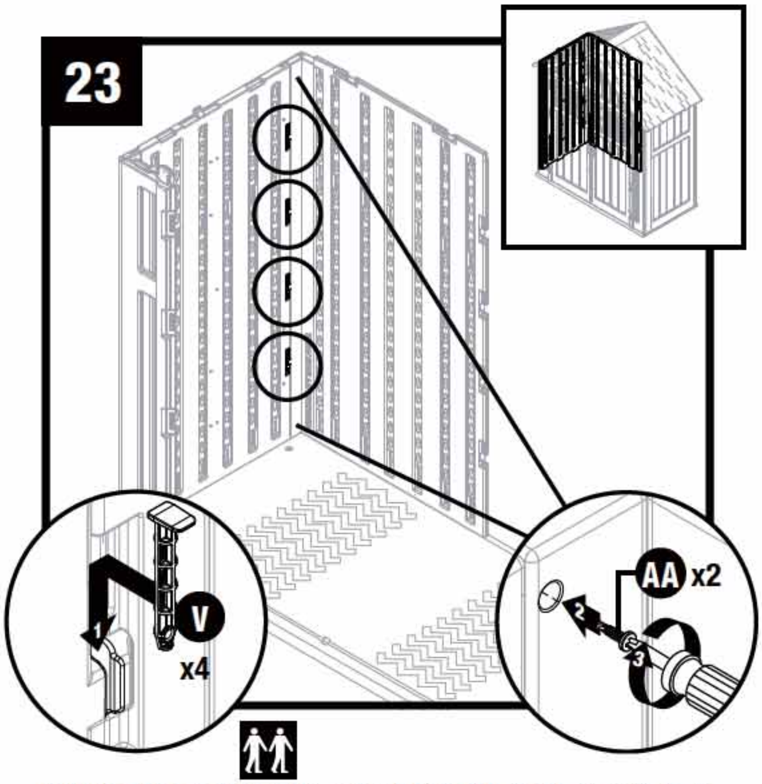
左バックパネル (D) を矢印１のように外側に少し倒しま
す。コーナー部を矢印２のように内側へ曲げます。

壁の組立

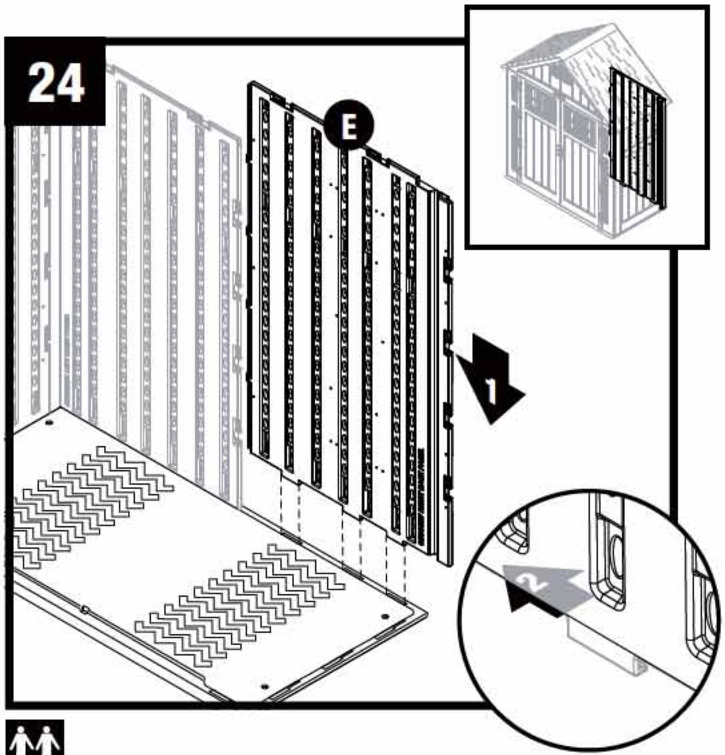


左バックパネルを (D) 戻しながら矢印２のようにフロアパネルにはめ込みます。





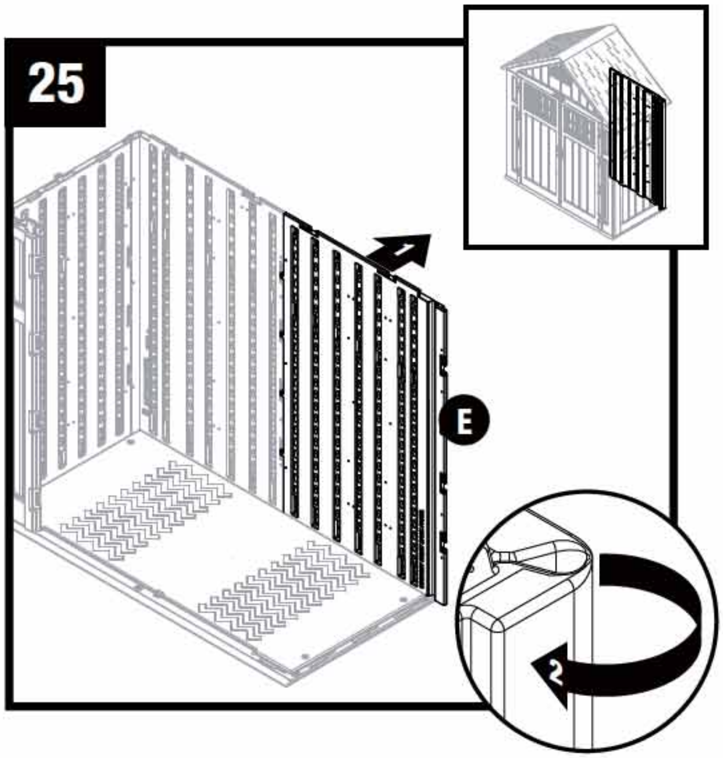
図のように4本のパネルコネクトピン (V)を差し込みます。もう一人はピンが挿入しやすいように外側から壁を押さえてください。ピンは割れやすいので注意してください。その後２本の木ネジを利用して上下２箇所を接続してください。
木ネジを締めすぎないよう注意してください。



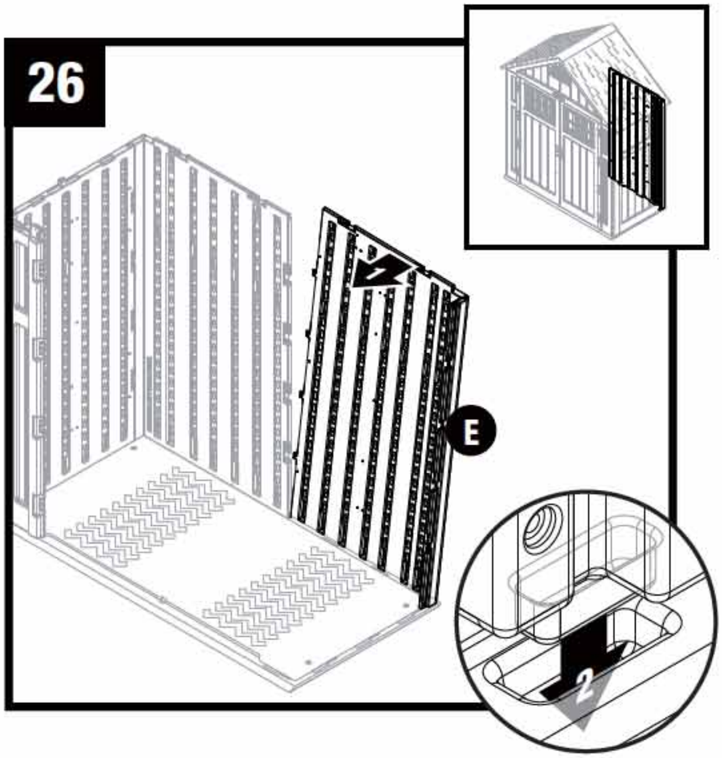
図を参照してフロアに右バックパネル (E)を差し込み、矢印２のようにスライドさせます。

注: **右バックパネル(E) を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。**

フロア・壁の組立



右バックパネル（E）を矢印１のように外側に少し倒します。
コーナー部を矢印２のように内側へ曲げます。

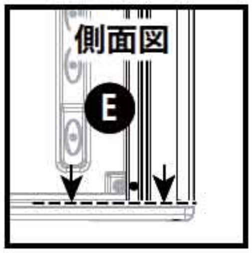


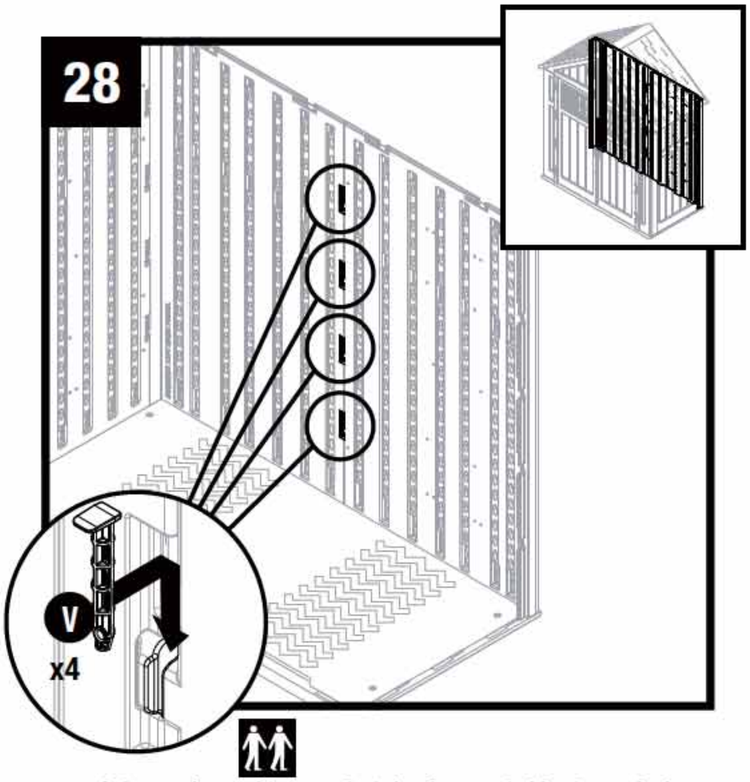
右バックパネルを（E）戻しながら矢印２のようにフロアパネルにはめ込みます。

27

次のステップに進む前に垂直（上面図）、フロアとの接続（側面図）を確認してください。

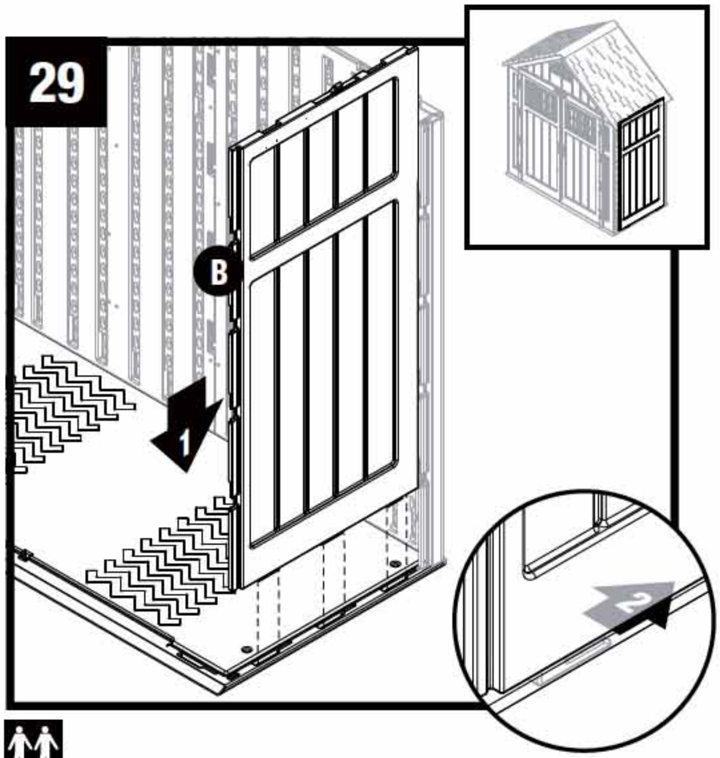
図と異なる場合は24から26までのステップをやり直してください。





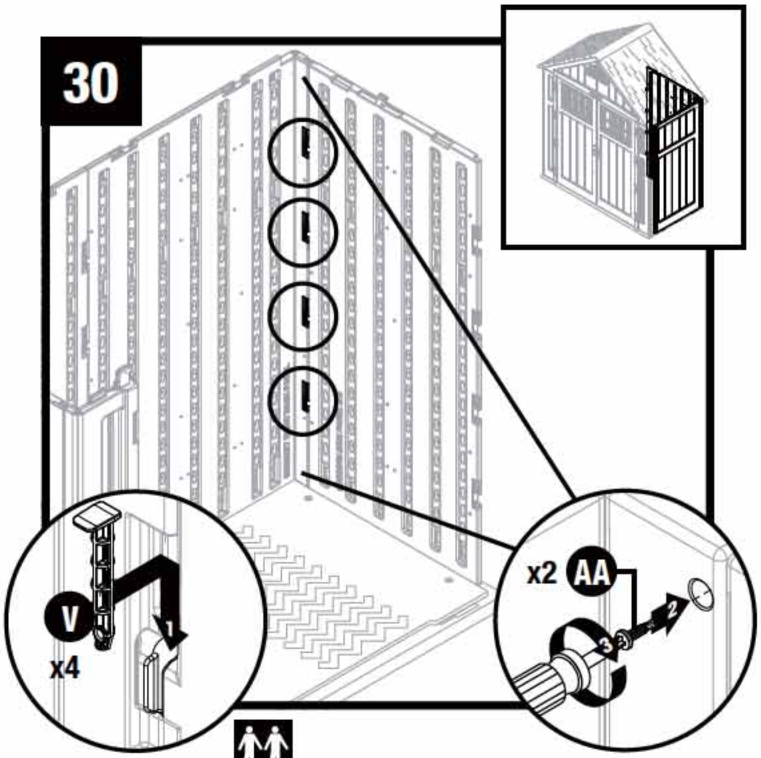
図のように4本のパネルコネクトピン（V）を差し込みます。もう一人はピンが挿入しやすいように外側から壁を押さえてください。ピンは割れやすいので注意してください。

壁の組立

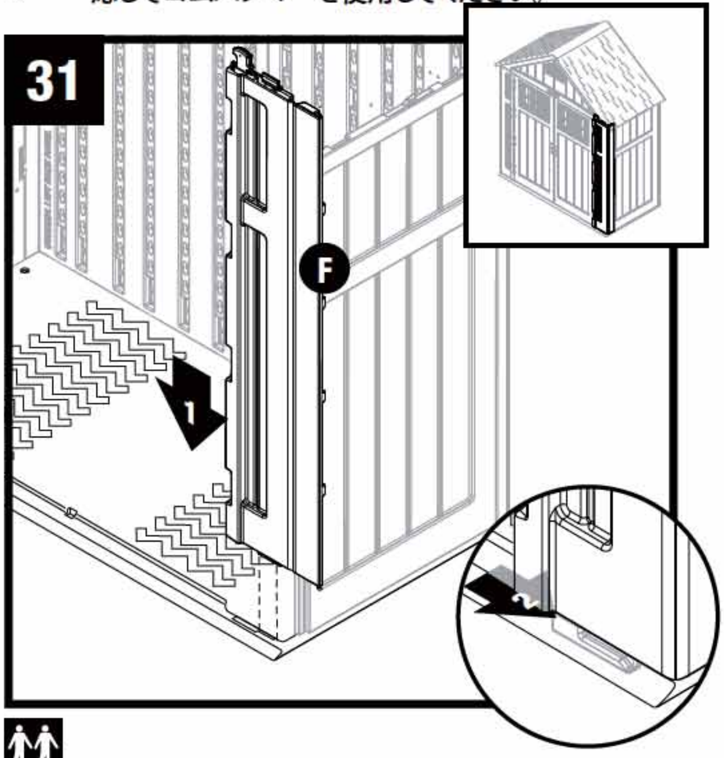


図を参照してフロアにサイドパネル(B)を差し込み、矢印２のようにスライドさせます。

注: サイドパネル(B)を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。

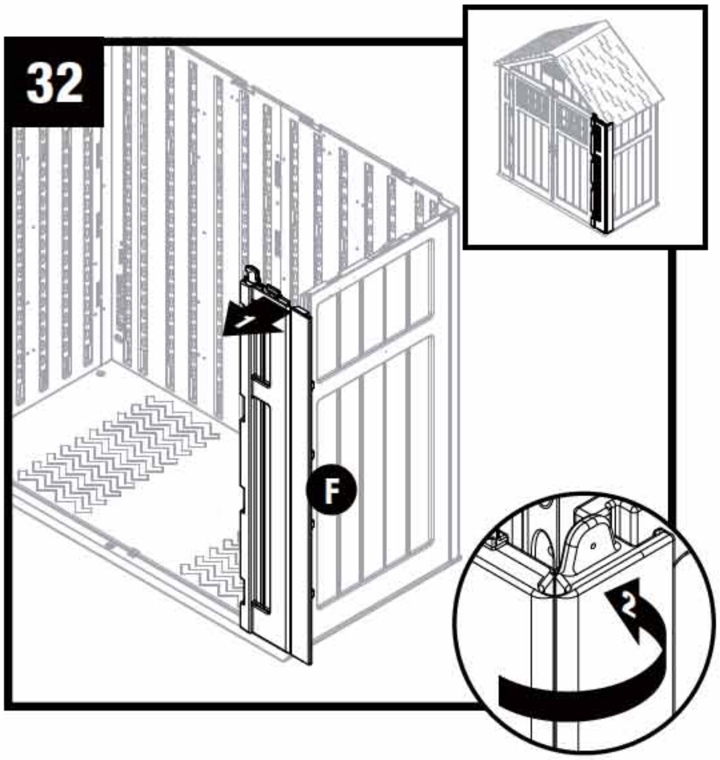


図のように4本のパネルコネクトピン(V)を差し込みます。もう一人はピンが挿入しやすいように外側から壁を押さえてください。ピンは割れやすいので注意してください。その後２本の木ネジを利用して上下２箇所を接続してください。
木ネジを締めすぎないよう注意してください。



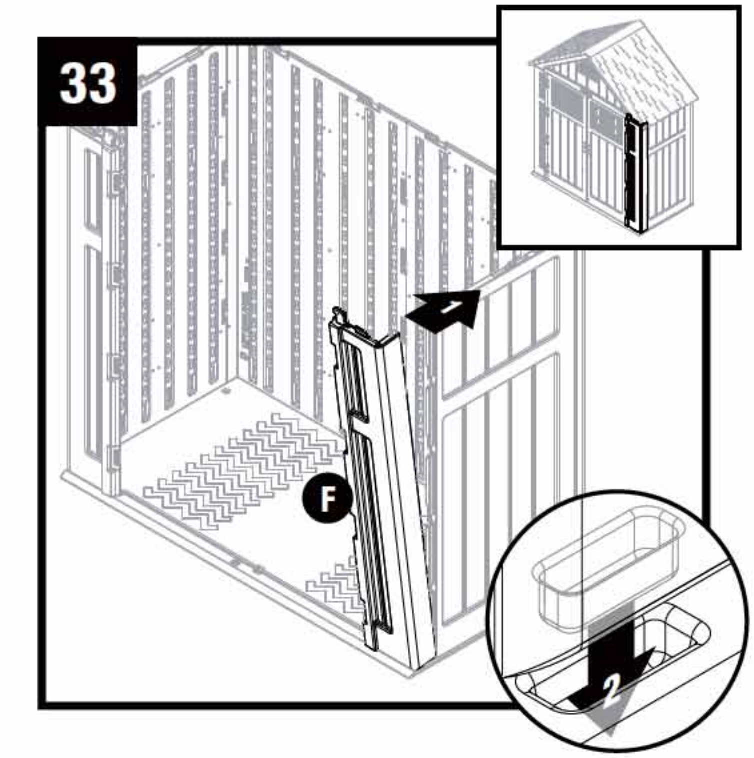
図を参考に右フロントパネル(F)をフロア(A)に差し込み、矢印２のように右フロントパネル(F)をスライドさせます。

注: 右フロントパネル(F)を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。

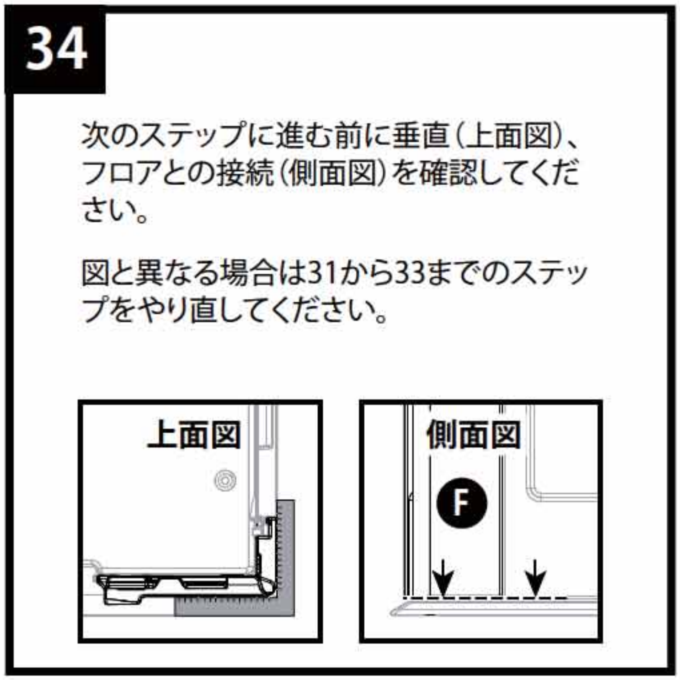


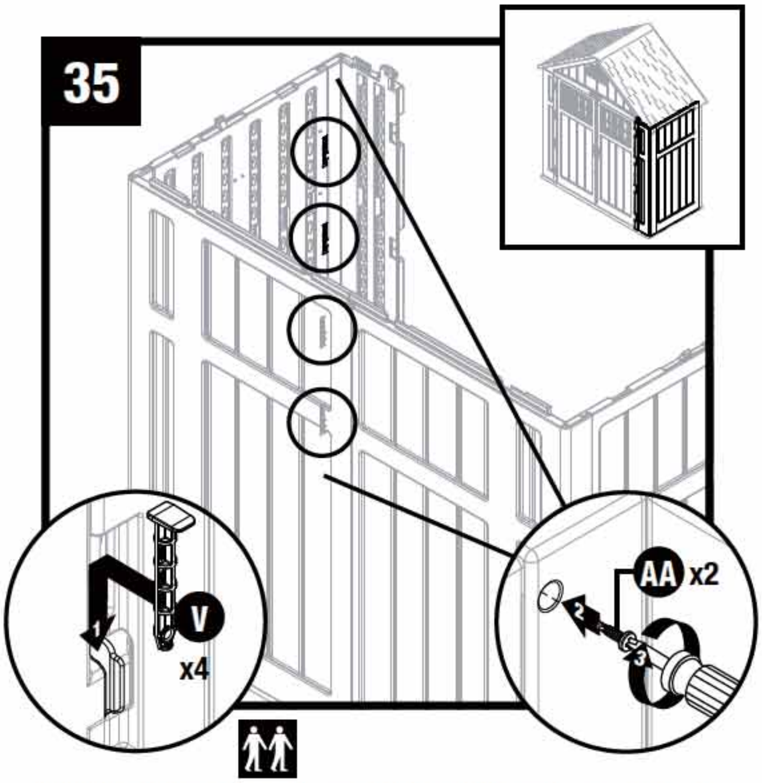
右フロントパネル(F)を矢印１の方向に少し倒し、コーナー部を内側へ曲げてください。

壁の組立



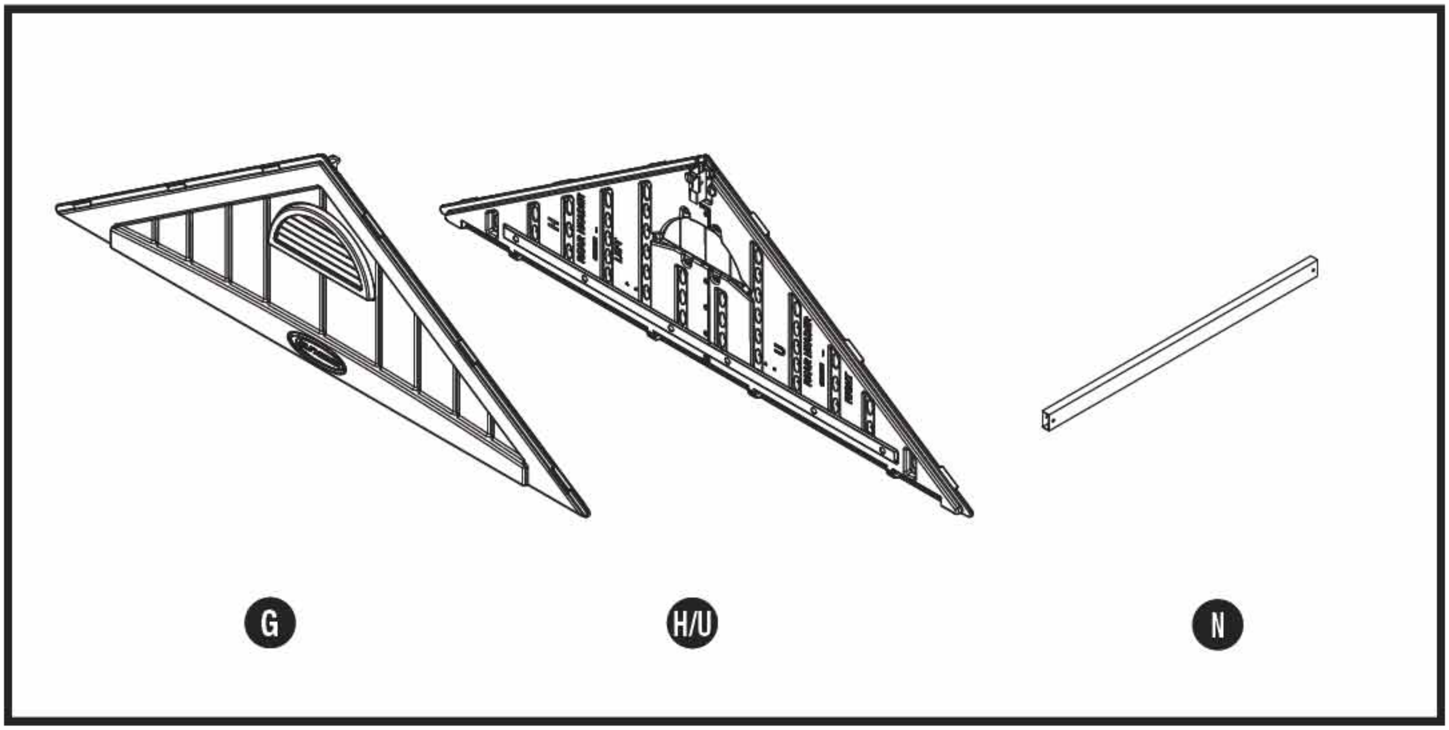
右フロントパネル（F）の角が曲がった状態を保ちながら
矢印１の方向に戻し、フロアに差し込みます。



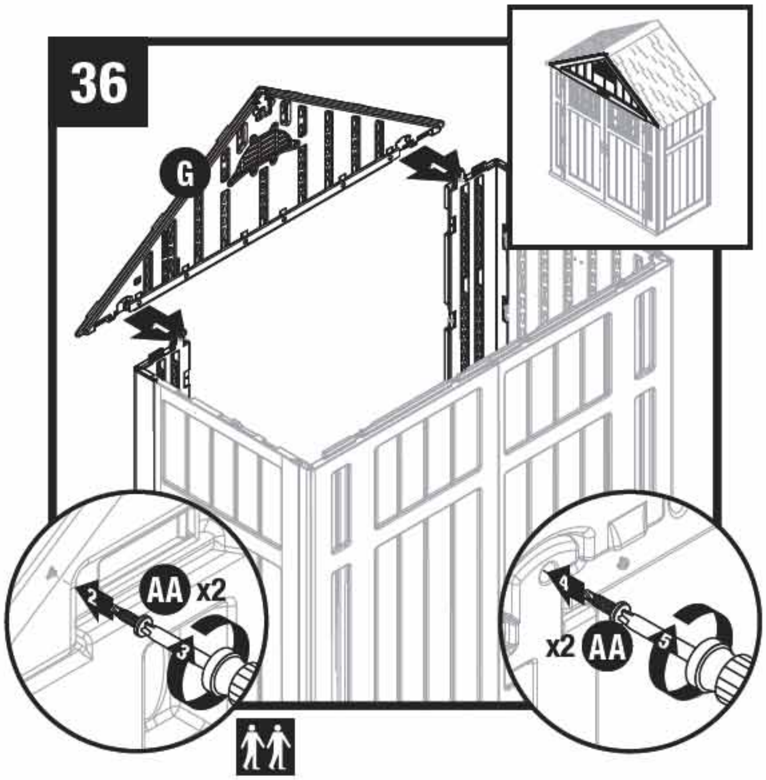


図のように4本のパネルコネクトピン（V）を差し込みます。もう一人はピンが挿入しやすいように外側から壁を押さえてください。ピンは割れやすいので注意してください。その後２本の木ネジを利用して上下２箇所を接続してください。
木ネジを締めすぎないよう注意してください。

屋根（ヘッダー）の組立



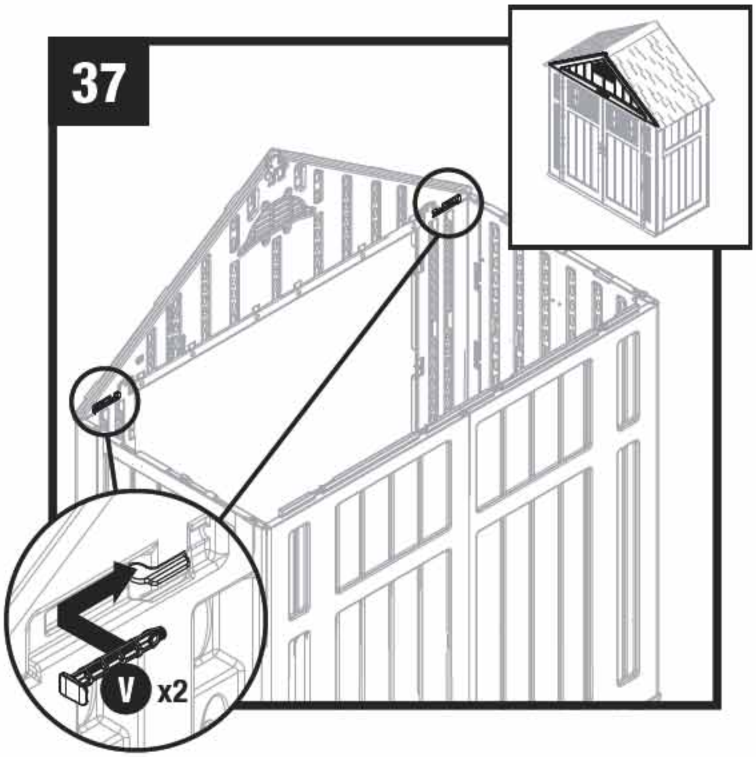
注: 屋根の組立には最低でも２人以上必要です。（推奨３名）。風に注意してください。高所での作業に注意してください。



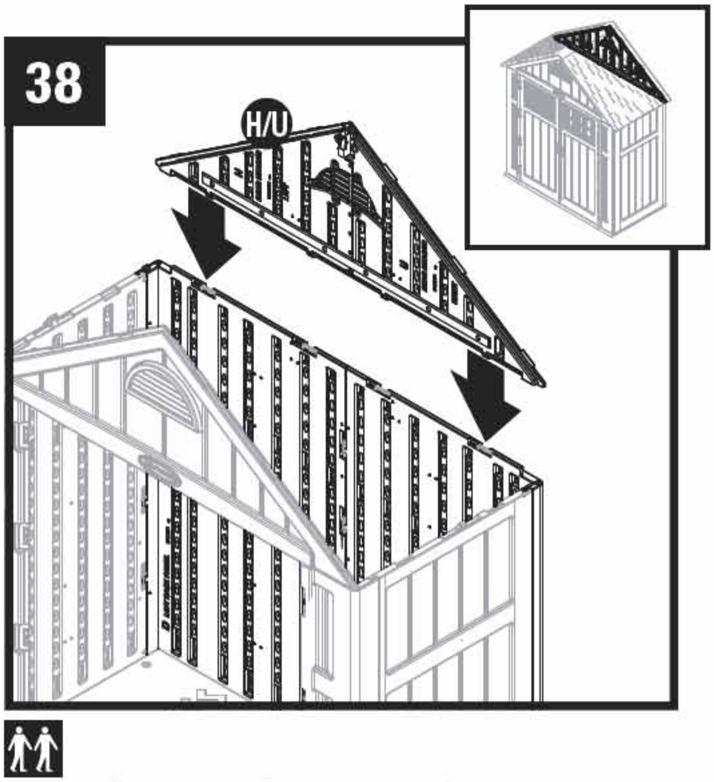
フロントヘッダー (G) を左右フロントパネルの形に合わせて置き、木ネジ（ＡＡ）で締めます。**木ネジを締めすぎないよう注意してください。**

注: 前後のヘッダーが連結されるまで（手順４１）ヘッダーは不安定な状態です。注意してください。作業人数に余裕がある場合はヘッダーが連結されるまで一名が支えるようにしてください。

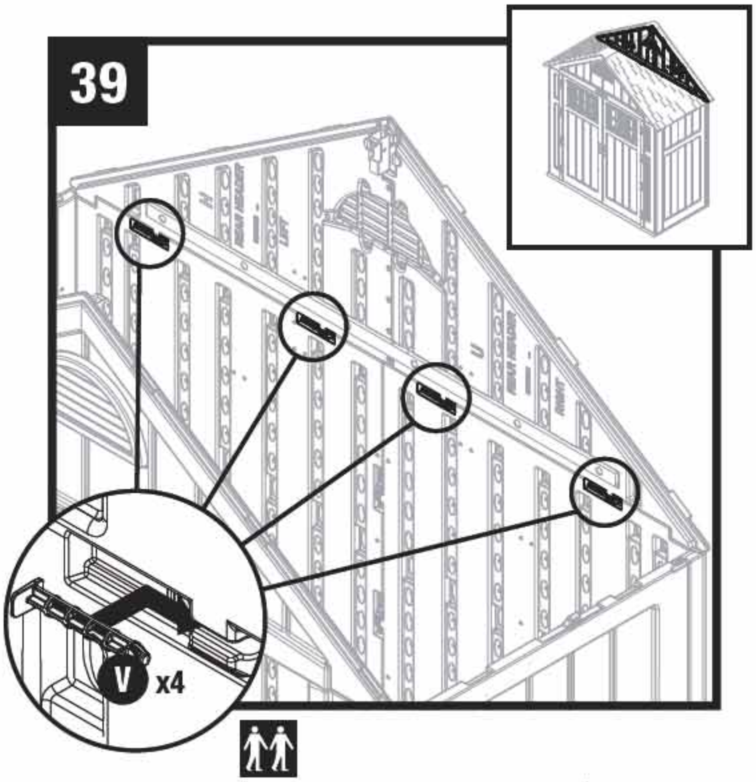
屋根（ヘッダー）の組立



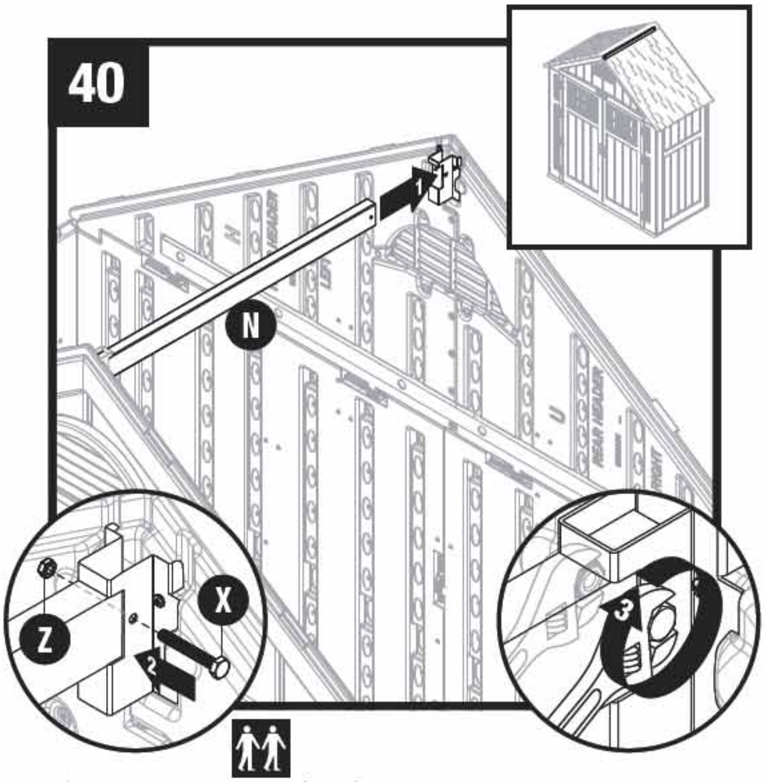
フロントヘッダーを２本のコネクトピン (V)で接続します。



リアヘッダーアッセンブリーを (H/U) バックパネルの上にのせます。**必ず２名以上で作業してください。**



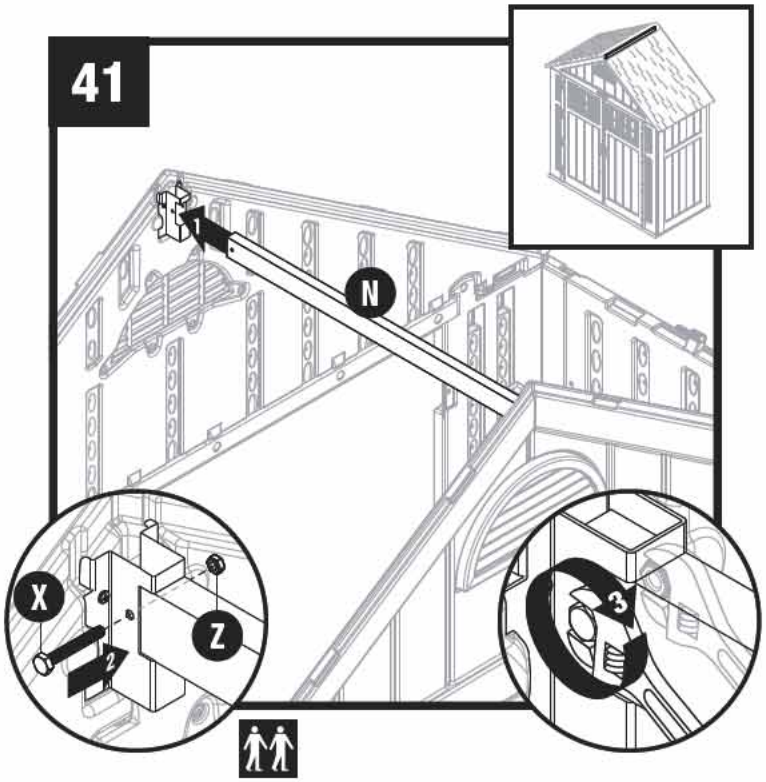
４本のコネクトピン (V)を差込み接続します。**必ず２名以上で作業してください。前後ヘッダーの接続が終わるまで１名でリアヘッダーを支えてください。**



ビーム (N)をリアヘッダーブラケット部に差込み 穴を合わせてボルト (X) とロックナット (Z)でしっかりと固定してください。

注: ビーム挿入時、ヘッダーを前後に動かす場合があります。注意してビームを挿入してください。

屋根（ヘッダー）の組立

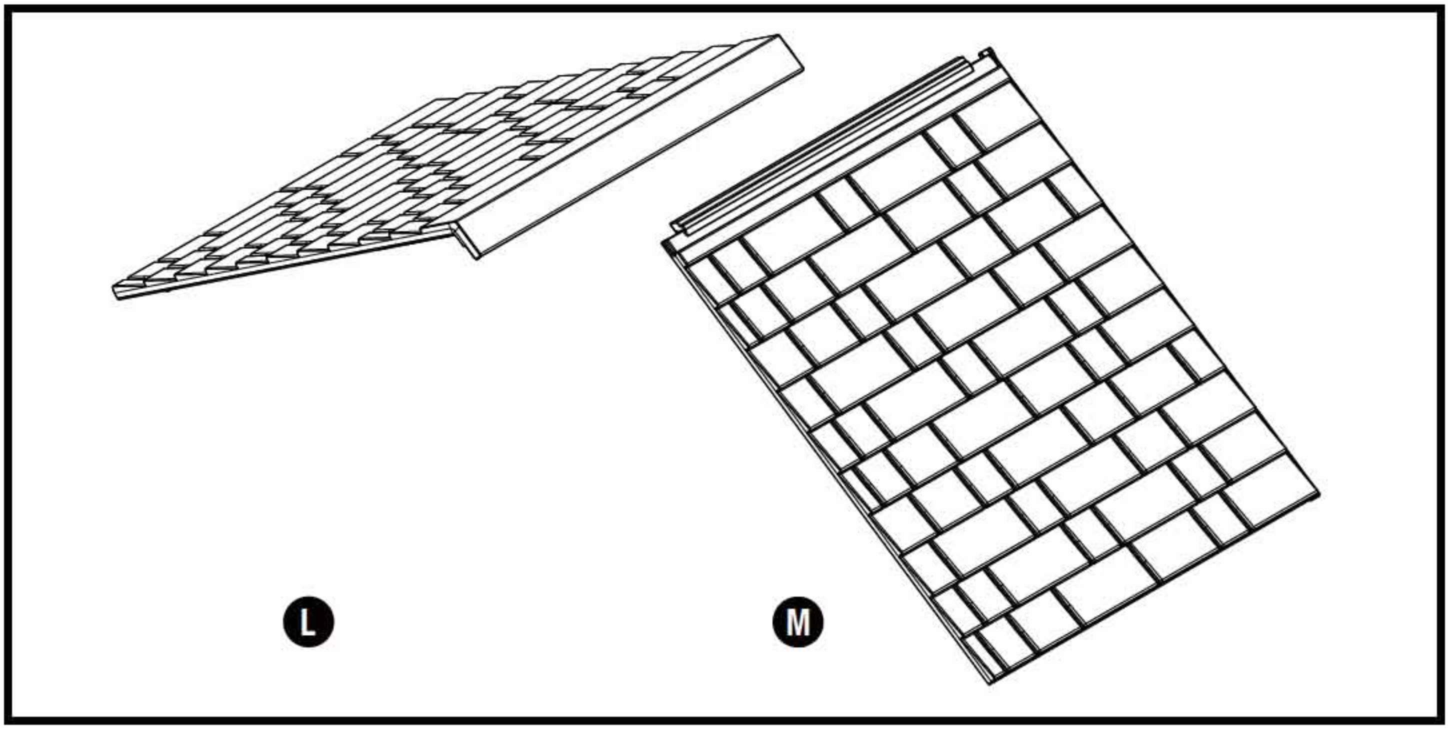


ビーム (N)をリアヘッダーブラケット部に差込み 穴を合わせてボルト (X) とロックナット (Z)でしっかりと固定してください。

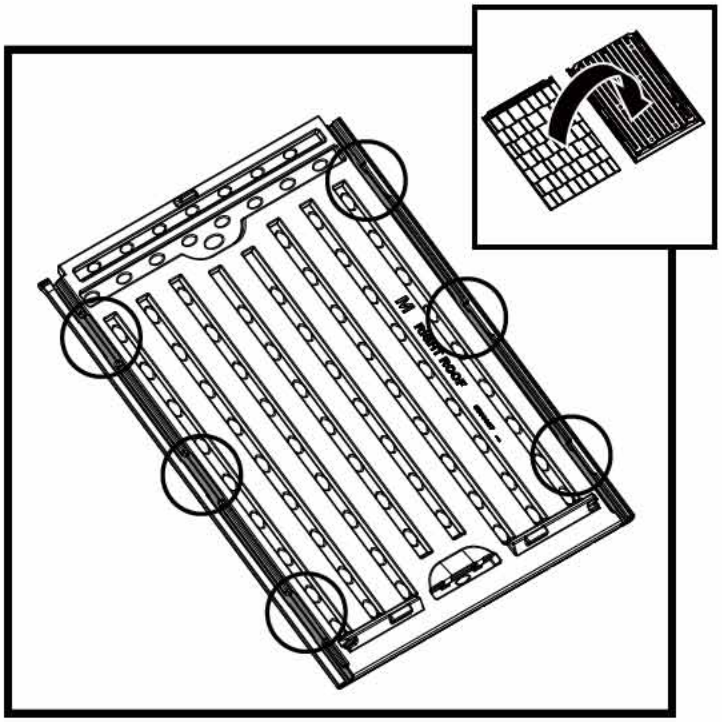
注: ビーム挿入時、ヘッダーを前後に動かす場合があります。注意してビームを挿入してください。

注意：ビームがしっかりと固定されるまでビームの下に立たないでください。事故や破損の原因となります。

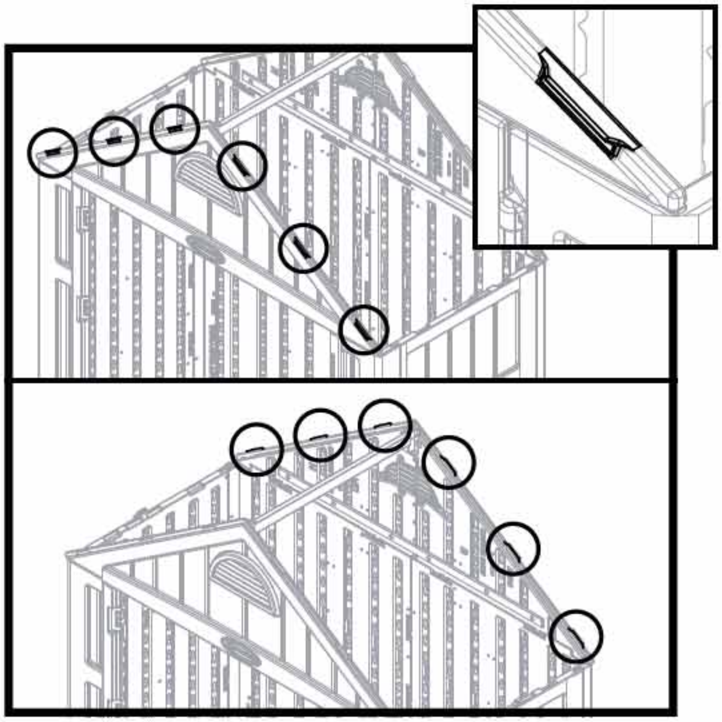
屋根(ルーフ)の組立



注: 屋根の組立には最低でも２人以上必要です。(推奨３名) 。風に注意してください。高所での作業に注意してください。

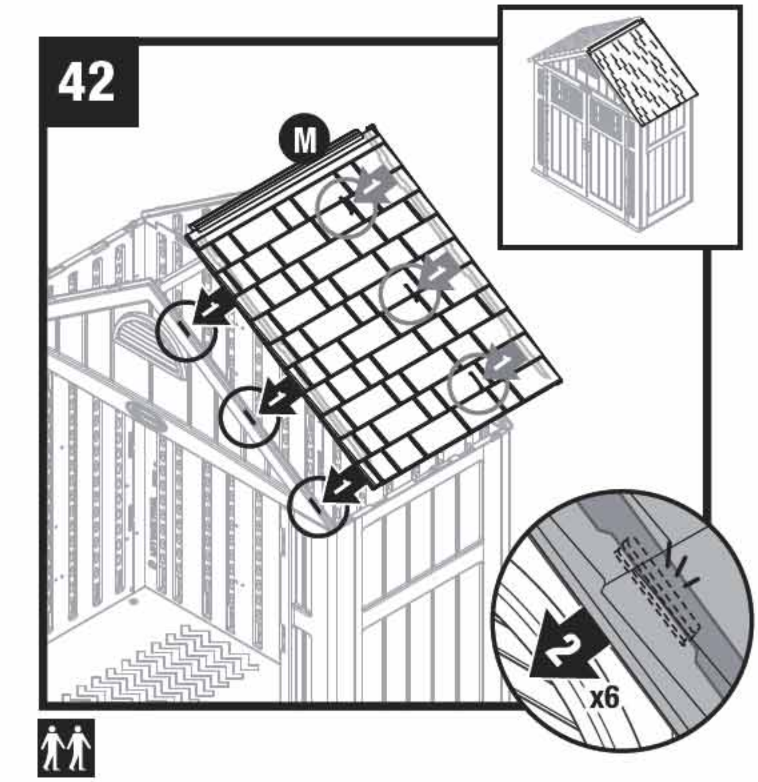


屋根(ルーフ)の組立前に右ルーフパネル (M) 左ルーフパネル(L)の内側チャンネル部及び左右３箇所(計６箇所)のタブ位置を確認してください。

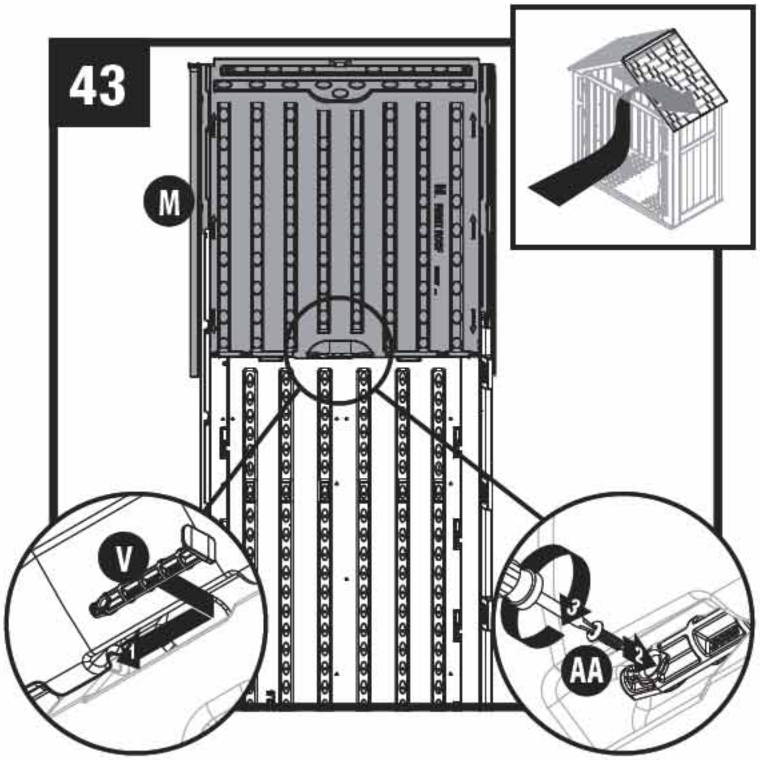


屋根(ルーフ)の組立前にフロントヘッダー、リアヘッダーのタブ位置を確認してください。

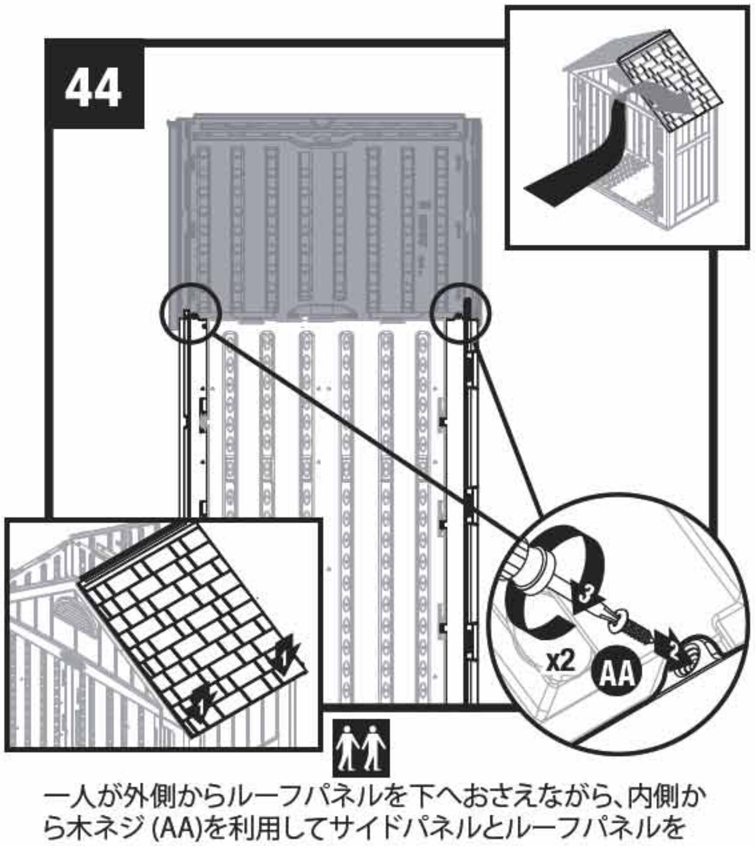
屋根(ルーフ)の組立



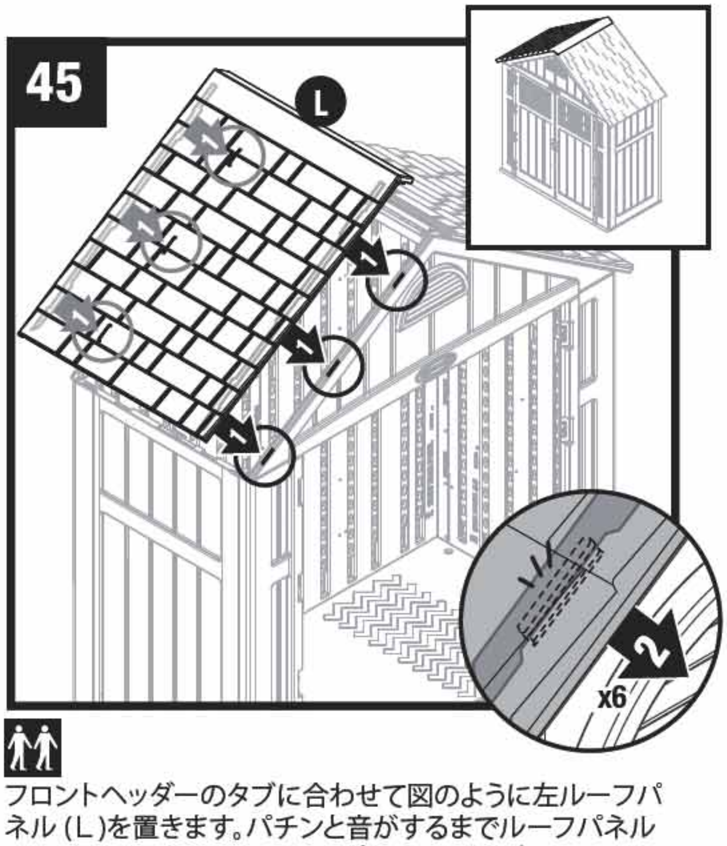
フロントヘッダーのタブに合わせて図のように右ルーフパネル (M)を置きます。パチンと音がするまでルーフパネルを下に引きます。フロントヘッダー、リアヘッダー計６箇所のタブを接続します。１箇所づつ行うとスムーズです。必ずタブを合わせてください。



内側へ入り右ルーフパネル (M) をコネクトピン(V) を利用してサイドパネルと接続します。コネクトピンはしっかりとはめ込んでください。木ネジ(AA)を利用してコネクトピンの穴で接続してください。

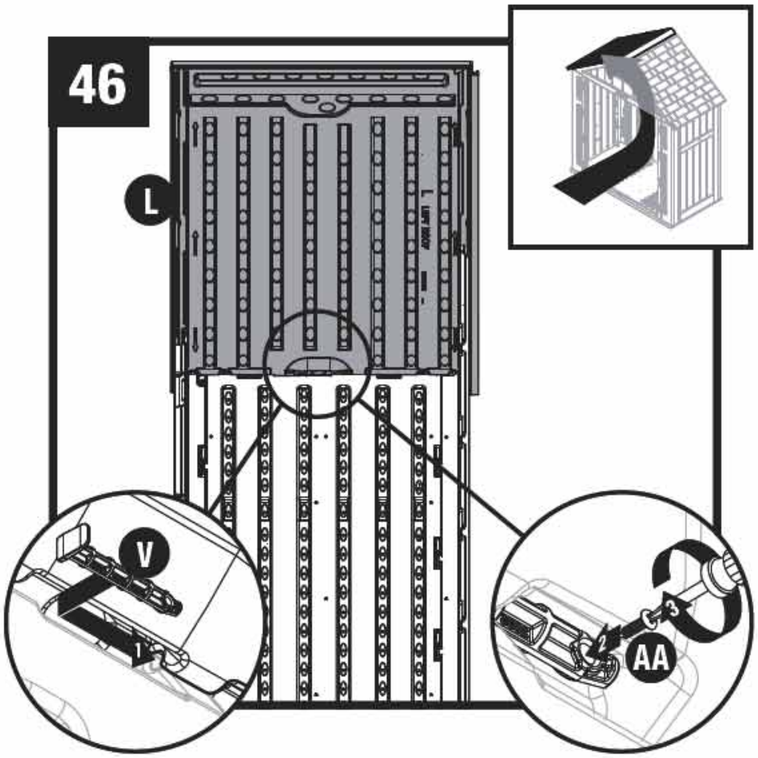


一人が外側からルーフパネルを下へおさえながら、内側から木ネジ (AA)を利用してサイドパネルとルーフパネルを接続します。

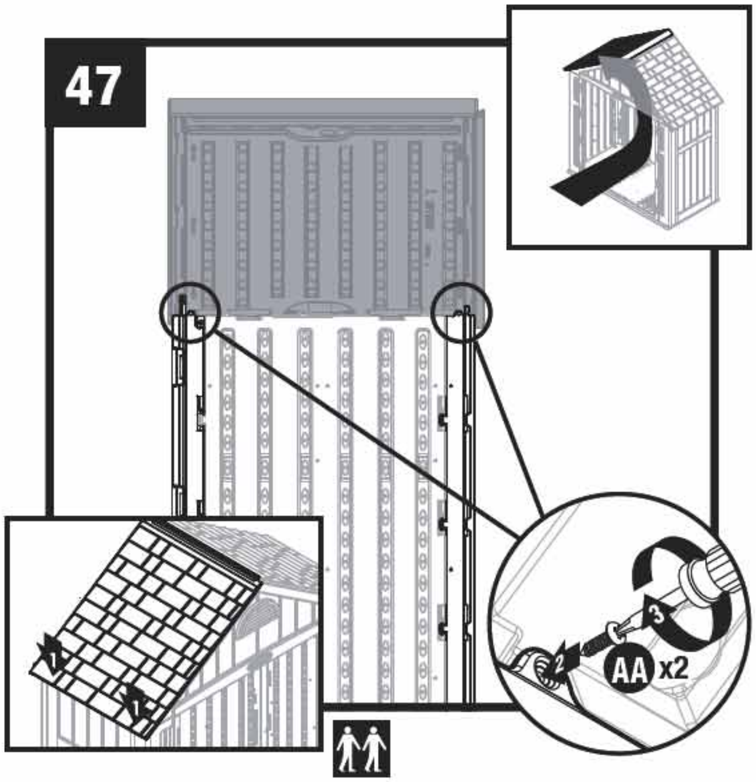


フロントヘッダーのタブに合わせて図のように左ルーフパネル (L)を置きます。パチンと音がするまでルーフパネルを下に引きます。フロントヘッダー、リアヘッダー計６箇所のタブを接続します。１箇所づつ行うとスムーズです。必ずタブを合わせてください。

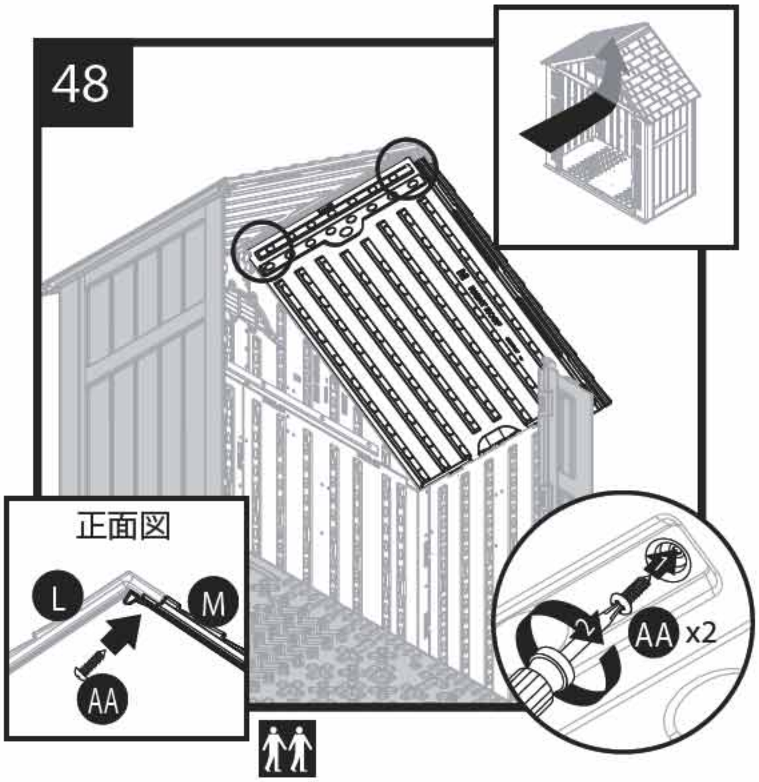
屋根(ルーフ)の組立



内側へ入り左ルーフパネル (L) をコネクトピン(V) を利用してサイドパネルと接続します。コネクトピンはしっかりとはめ込んでください。木ネジ(AA)を利用してコネクトピンの穴で接続してください。



一人が外側からルーフパネルを下へおさえながら、内側から木ネジ (AA)を利用してサイドパネルとルーフパネルを接続します。

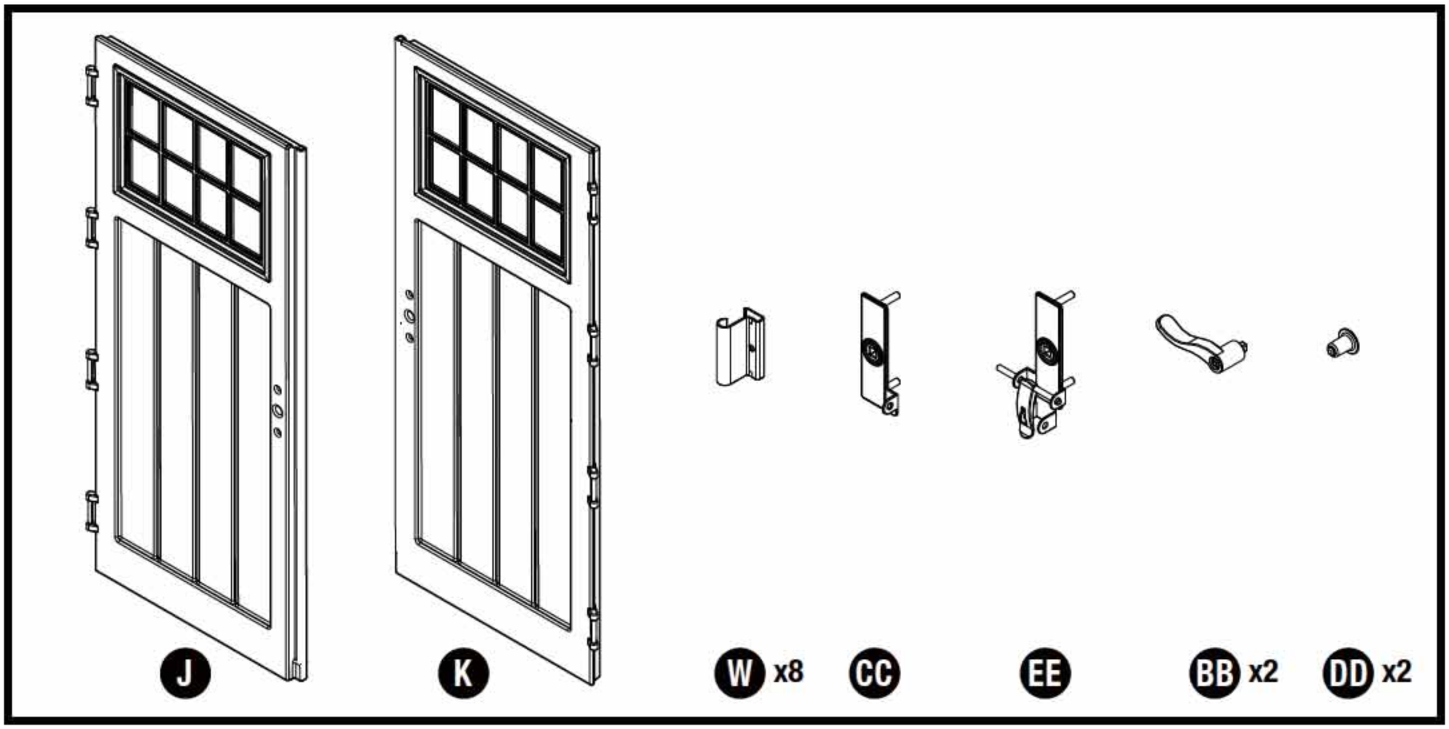


右ルーフパネル(M)の穴と左ルーフパネル (L) の穴を合わせて、内側から木ネジ (AA)を利用してルーフパネルを接続します。

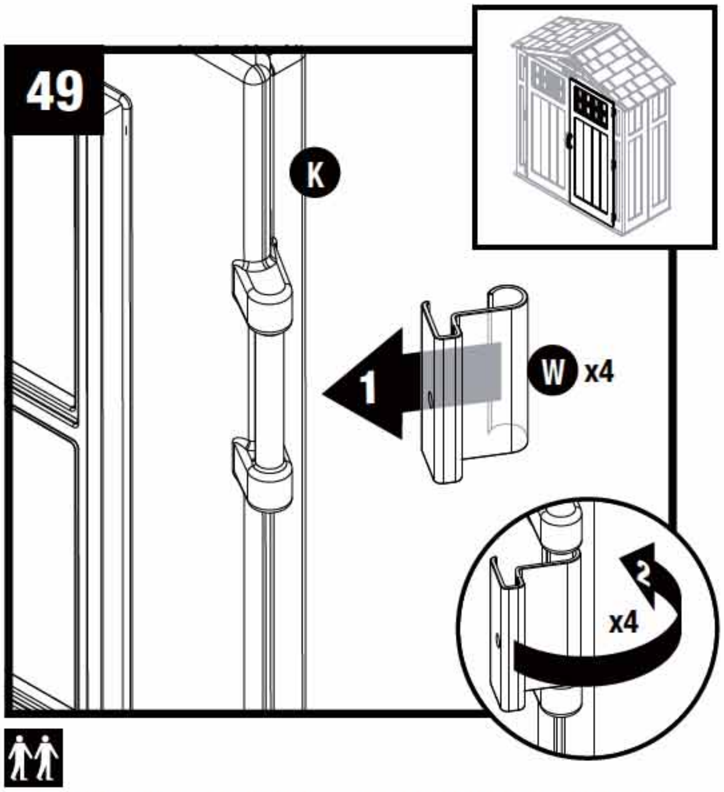
注: もう一人が外側からパネル接続部分を下へ押さえてください。

注: 説明の為、図はフロントパネル及びフロントヘッダーが無い状態で書かれています。

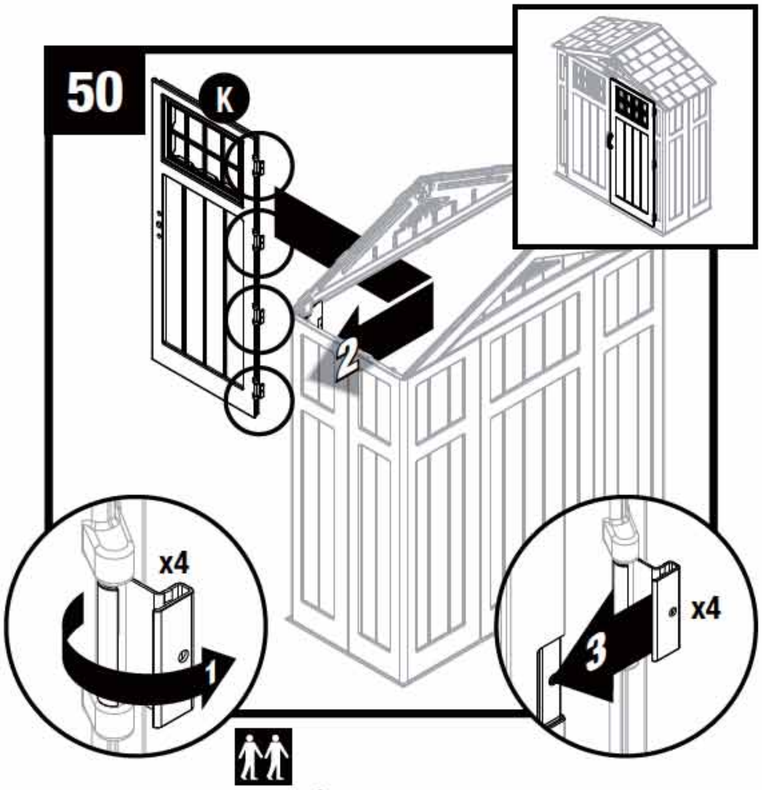
ドアの組立



注: ドアの組立には最低でも２人以上必要です。（推奨３名）。風に注意してください。



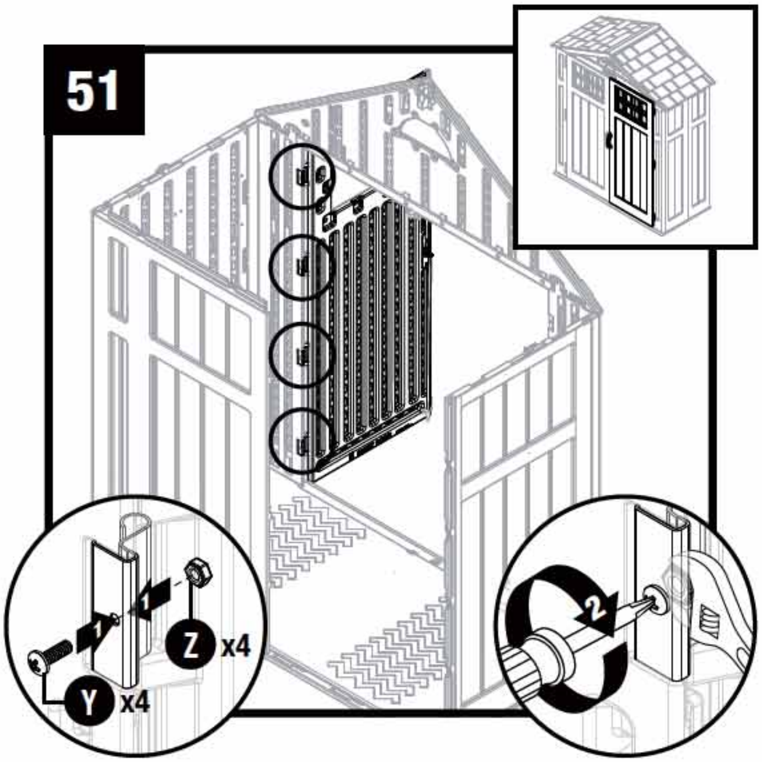
右ドア (K)をたて４箇所にヒンジを取り付けます。図を参照してヒンジプレート(W)を取り付けます。矢印２のように回しながら取り付けます。



矢印１のようにヒンジプレートを回転させせます。右フロントパネルの４箇所のヒンジ取付位置にヒンジプレートをはめ込みます。

注: 説明の為、図はルーフパネルが無い状態で書かれています。

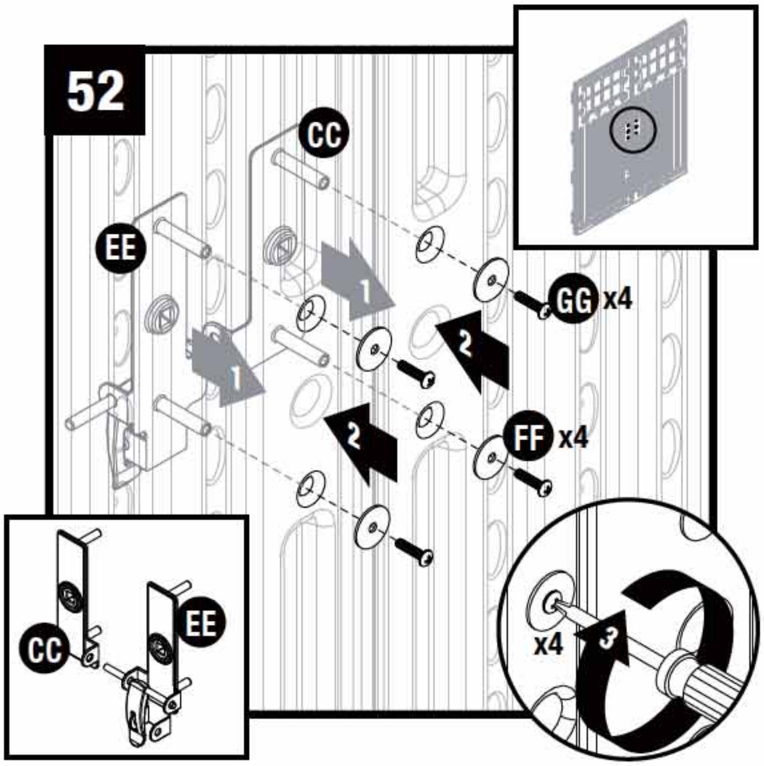
ドアの組立



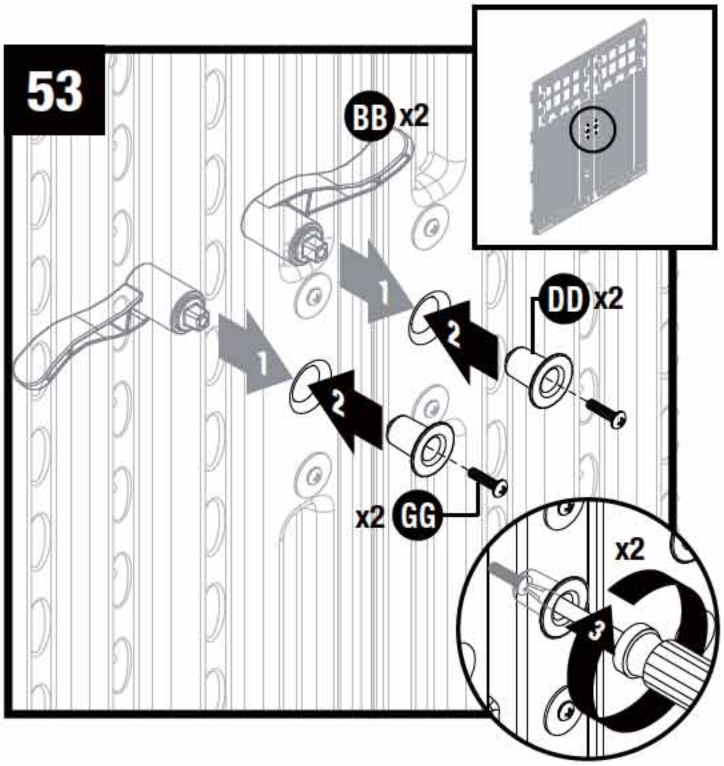
ボルト (Y) とナット (Z)を仕様してヒンジを固定します。ボルトは内側から挿入します。

左ドア (J)も同じ手順で取り付けます。

注: 説明の為、図はルーフパネル、リアパネル、リアヘッダーが無い状態で書かれています。



図のように左ハンドルプレート (CC) 右ハンドルプレート (EE) をドアの穴位置に差し込みます。ワッシャー(FF) とボルト (GG)を利用して左右のハンドルプレートを固定します。



図のように外側からドアハンドルを挿入して(BB) 内側からスペーサー (DD) と合わせボルト (GG)を使用してドアハンドルを取り付けます。

完成

SUNCAST製品の保証について

【SUNCAST製品の保証について】

SUNCAST製品は輸入品の為、メーカー保証は付属しません。

初期不良、欠陥品、パーツ不足があった場合は無償にてパーツ交換対応いたします。

組立の際の破損、天災などによる破損については有償で対応可能です。

※初期不良、欠陥品、パーツ不足などの無償対応は商品到着日より１ヶ月間です。

※商品自体の返品はできません。

【輸入元】有限会社TOSHO
〒509-5147　岐阜県土岐市泉郷町4-16
TEL：0572-55-1400　FAX：0572-55-1406
http://www.tosho-corp.jp